

大学ジャーナル

FREE

vol.145 11月号

第26巻5号・通巻145号

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374
E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE
http://univ-journal.jp



Highlight

03 あらためて、どうなる
これからの大学入試II
京都大学の新アクション
プランから(入試改革、研究者養成の強化)
京都大学 理事・副学長(財務・入試担当)
村上章先生に聞く



04 奨学金特集 四国・九州編

05 始動、STEAM教育
生命科学における文理融合とは
「グリーンインフラ」ってなに?



06 特別寄稿
ポストコロナへ向けて
あらためて留学生と学ぶ
意味を考える



連載 雑賀恵子の書評①
「他者の靴を磨く」ブレイディみかこ

07 連載 16歳からの大学論
全国初、学際研究に特化した
学術誌「といたといた」の創刊
京都大学准教授 宮野公樹 先生

連載 雑賀恵子の書評②
「現代社会用語集」入江公康

08 大学ジャーナルオンラインから

12 ゲームチェンジ時代の
製造業を切り拓く
「ひらめき・こと・もの・ひと」
づくりプログラムとは?
その4 総集編

企画・広告のお問い合わせは
UNIVERSCAPE
ユニバースケープ(株)
info@universcape.co.jp まで

大学トップから高校生へのメッセージ

教育・研究分野で日本の大学界を先導する慶應義塾。
先頃は、他大学の学生も受け入れての大規模な職域接種でも注目を集めた【コラム次頁】。
この春、《義塾としての理想の追求》を掲げられて塾長になられた伊藤公平先生は、
世界の最先端技術である量子コンピュータの研究者で、海外での研究経験も長い。
教育DXに加え、グローバル化も一層加速すると予測される
ポストコロナにおける日本の大学について、
慶應義塾の進める改革を中心に、その展望をお聞きした。



新しい社会を作るために
半学半教で、学生をまん中に置いて分野横断を加速

大学とは、 慶應の使命とは

大学は、生涯の友や師に出会うことのできる場であり、そこでの学びや経験が将来につながる《人生の好循環の起点》でありたいと思っています。現在大学を目指しておられるみなさんは、50年後の社会を作るわけですから、その使命を一人ひとりに《自分事》として認識してもらおうとともに、自ら新しい社会を作っていく喜びをぜひ経験してほしい。

一方、受け入れる大学には、学生が未来の社会設計に貢献、寄与するための仕組みを作り、環境を用意する義務があります。慶應義塾の創始者、福澤諭吉の言葉を借りれば、「全社会の先導者」※1を育てる使命があるのです。

慶應では今夏、ワクチン接種と並行して、学生自らが厳しい感染対策を策定し体育会やサークルで練習や活動を行ったことが功を奏し、感染第5波を免れました【コラム右】。こうした経験も、将来、エネルギー危機や環境危機の解決に挑戦する際、必ず活かされるものと期待しています。

私立大学という立場からは、慶應はこれまで、経営の危機に瀕した際にも国に助けを求めず、「社中協力」※2の理念で乗り越えるなど、常に健全な少数派を目指して社会変革を行ってきました。創立から163年を経た今こそ、国内の大学の中でそれなりの地位を得ていますが、「そこに行けばよい仕事につ

慶應義塾長 伊藤 公平先生

Profile

1989年3月 慶應義塾大学 理工学部 計測工学科 卒業。1992年12月 カリフォルニア大学バークレー校 工学部 M.S.(修士号)取得。1994年12月 カリフォルニア大学バークレー校 工学部 Ph.D.取得。1995年4月 慶應義塾大学 理工学部助手。専任講師、助教授を経て2007年4月から教授。2016年11月～2017年3月 大学グローバルリサーチ・インスティテュート副所長。2017年4月～2019年3月 慶應義塾大学理工学部長・理工学研究科委員長。2021年5月から現職。慶應義塾高等学校出身。



け、将来が準備されている」というブランド大学の象徴的な存在になるのは避けたい。社会がどのようなピンチに遭遇しても、最悪のシナリオを想定しながらも常に楽観し、いい意味でスマートに、みんなで仲良くよい社会を作っていこうと周囲を巻き込んでいく。このような慶應の良さ、本来の精神を、もう一度呼び戻したいと考えています。

※1 全社会の先導者
福澤諭吉は「慶應義塾の目的」で「気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、…以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」と記した。
※2 「社中」とは、教職員、学生、卒業生などすべての関係者。

慶應義塾大学病院は2021年4月の大阪の感染状況から、オリンピックやパラリンピック開催時には状況が悪化すると予測。大学も、学生の提出する体育会活動など課外活動実施にあたっての対応策について、不十分なものは差戻す等厳しい審査を行った。結果は、「これ以上は考えられないほど入念な対策が講じられていた」(塾長)とのことで、かなりの数の部、サークルの活動が認められた。首都圏で感染者数が増えた8月には塾生の感染者が減少したことについて、「塾生が社会の中での責任を果たしてくれた」と塾長は振り返る。

日本の大学の これからについて 世界の一流大学から 取り残されないために

相対的ではあるにせよ、国際的な地位が下がってきていると言われる日本の大学ですが、今後は、大学間で競争するのではなく、国際展開も含め互いに協調していくべきだと考えています。

例えば世界の学長が集う国際会議で、東大や、早稲田、慶應が個々に発言するより、「われわれは力をあわせてこんなことをしたい。だから一緒にやりませんか」と訴える。その方が耳を傾けてもらいやすいのではないかと。大学入試改革に限らず今の日本の教育界では、少子化を理由に後ろ向きな議論になりやすいが、最悪に備えながらも前向きに考え、世界を視野に、節度を持って協調することに活路を求めようとする方がはるかに建設的ではないでしょうか。

ちなみにある国際会議では、「コロナ禍における学長の一番大事な仕事は」と問われた際に、日本を含むアジアの学長の多くが「学生の教育」と答えるのに対して、欧米の学長の多くは「資金の獲得」と答えました。事実、すでに一度に何兆円も集めてそれを運用している大学も少なくありません。しかし、例えば慶應がこうした競争に加わろうとすることは、世界の1%の富裕層を目指して平均的な日本人が財テクに走るようなもので、しようと思ってもできないし、また目指すべきでもない。日本の大学には、節度を守りみなで協調していいものを作るために努力しようというような、独自のやり方があるのではないのでしょうか。



分野横断による 教育改革

慶應では、レベルの高い学生、教員、職員を一番の宝と考えていますが、私はこの3者をしっかりと横につなげ、様々な改革を行っていきたくと考えています。そして、世界が称賛するような学術的成果を生み出し、エネルギー問題、アジアの安全保障といった世界的な課題や、コロナ禍における経済支援や社会のデジタル化の後方支援といった国内の課題に対しても的確に提言していきたい。もちろんその過程では、福澤先生が「多事争論」※3と言われたように様々な意見が生まれてくるのが望ましい。それが学生たちに様々な見方のあることを気づかせ、彼らの視野を広げ、新しい社会をデザインするのに役立ててもらえるからです。

おりしも学術研究の世界においては、文理融合や学際融合など、20世紀までに深めてきた専門の垣根を一度解き放ち、異分野横断で新たな総合知を生み出そうという動きが目立ってきています。教育も足並みを揃え、リベラルアーツの見直し、STEAMなどの新たな概念の提唱も始まりました。

そこで改革の一つと位置付けているのが、学生をまん中に置いた教員の連携、それが誘発する分野横断の学びの拡大です。すでに博士課程教育リーディングプログラムの実施を契機に、優れた研究業績をあげ改革に前向きな教員が、学生を介して協調し、組織を超えた連携を進めています。例えば医学部のプロジェクトにおいても、生命倫理や個人情報の取り扱いについては法学部の教員から、AIについては理工学部の教員から学ぶというように、組織の壁を越えて学生は複数の教員から学べるようになっていきます。学生を中心に、高い専門性を持った教員が横につながっていく。学生が自分事として、将来の社会設計のためにと助言を求めると、教員もそれに向き合い、応える中で専門性を高めていける。現在湘南藤沢キャンパス(SFC)も含めて、協調と組織を超えた連携の進め方について教員間で活発な議論が行われていますが、協調する教員が増えれば、教員の専門性をこれまで以上に引き出すことができますし、大学全体の教育・研究レベルを確実に向上させられると期待しています。慶應の力を最大限に引き出すためには、外から見えてわかりやすいフラッグシップとなるような組織、学部を作るといった選択肢もありますが、当面はこの流れを学部教育でも実施し加速させていきたい。改革には、学生が自分の将来に直接かかわることとして協調してくれることも大切だからです。

※3 多事争論
福澤論吉は著書「文明論の概略」で「自由の気風は唯多事争論の間に在りて存するものと知る可し」と記す。

あらためて「半学半教」を

学生をまん中に置くということにはもう一つ理由があります。テクノロジーの急激な変化によって、ICTでは教員より高い技術・能力を身につけた学生や、地球環境に関してはサステナビリティ・ネイティブとでも呼べるような高い意識をもった学生が増えてきたため、教える側と教えられる側という分け方にそれほど意味がなくなりつつあるからです。もちろんこれまでのように、良質な文学や哲学などの普遍的な学問を、教員から学ぶことを否定しているわけではありません。ただ、慶應義塾の精神である「半学半教」※4の理念が再び活かされる時代が訪れようとしているのは確かです。

2年前に立ち上がった「AI・高度プログラミング・コンソーシアム」では、AIに詳しくプログラミングに長けた学生が他の学生に教えるという試みも始まっています。AIのように技術が日々進化するのは、学問として体系化されていないため科目になりにくい。とはいえ企業のインターンシップではプログラミング能力

キャンパスライフを取り戻すために

6月21日からスタートした慶應のワクチンの職域接種では、職員による予約サイト構築などのオペレーションと慶應義塾大学病院と関連病院、医療系学部、その卒業生組織の連携によって、9月15日までに学生・教職員等5万人※1の接種を行うことができました。ワクチン接種には、最悪のケースを想定したバックアップ体制も求められるが、接種会場の三田キャンパスから近い済生会中央病院との協力体制がそれを可能にした。

当時、慶應義塾大学病院は東京2020オリンピック、パラリンピック対応に加えて、コロナ対応、さらに新宿区の接種も担っていて多くの人員を割けない状況だったが、それをサポートしたのが医学部、看護医療学部、薬学部の各学部とそのOB・OG、関連病院の医師、看護師や薬剤師だった。「三田会(卒業生組織)のネットワークに感謝するとともに、われわれはこうして助けられていることを実感した」と塾長は話す。

接種開始にあたっては、前病院長で接種プロジェクトリーダーの北川雄光常任理事が「ワクチン接種は本人の意思に基づくもので、強要されるものではなく、接種しないことで差別されるものではない」と前置きし、副反応については、既に約4,500人に接種(ファイザー製)を終えていた大学病院での実績を基に説明した。その上で塾長は、「ワクチン接種を進めてキャンパスライフを奪還する」との意気込みを語った(いずれもビデオ・メッセージによる)。医学部生も学生向けにQ&Aのサイト※2を用意し、医療系を持つ大学の強みがいかに発揮されたといえよう。

※1 ワクチン接種者数(第2回) 学部・大学院生 26,784人 教職員(教職員同居家族・委託職員・関係会社社員含む) 7,473人、他大学生等(文部科学省留学予定者ワクチン接種支援事業対象者含む)14,449人
※2 医学部学生・アンバサダー×全塾協議会事務局「新型コロナウイルス 大学生向けワクチン情報サイト」

が問われることもある。そうした学問とビジネススキルとのギャップを、学生同士が学びあうことで埋めるという相乗効果も期待できます。

大学教育改革についてはこれまで、国主導の施策が次々と打ち出されてきましたが、私たちの進めるこのような改革はそれとは一線を画します。私たちが始めた量子コンピュータ研究※5が東大にも広がったように、今後このような改革が他の大学へも広がってくれることを期待しています。

※4 半学半教
教員と学生の分を定めず、先に学んだ者が後で学ぶという、慶應草創期からの理念。
※5 2018年に理工学部矢上キャンパスに最先端量子コンピュータ研究拠点として、Keio University Quantum Computing CenterにIBM Q Network Hubを開設。その後2019年には東京大学が量子コンピュータについてIBMとパートナーシップを締結。

スタンダライゼーションを 超えて 新しい授業、 新しいキャンパスを作る

コロナ禍によって教育の様々な問題点があぶりだされ、ポストコロナへ向けて教育は今、大きな転換期を迎えています。こうした中では、スタンダライゼーション、標準化ということにどう向き合うかも大事です。明治以来、教育の標準化を徹底してきた日本は、戦後、世界的な学力テストでトップとなるなど、それを高度経済成長の原動力としてきました。しかし今日のような変革期では、それにこだわり過ぎては改革を滞らせる恐れもあります。私大連(一般社団法人日本私立大学連盟)では、「ポストコロナ時代の大学のあり方——デジタルを活用した新しい学びの実現」(2021年7月)として、対面授業をどこまでオンライン授業で代替できるかについて提言をまとめ、新たな大学教育の方向性を示しました。そもそも一律の規定を定めることが妥当なのかは疑問です。

例えば、フィールドワークに出ている人がコンピュータ端末で観察対象を見せ、教室にいる人が「もっとこっちにずらしてみてください」という具合に授業が進められた場合、これはオンラインによるものなのか、対面でのものなのか判断しにくい。新しいことにチャレンジしようというとき、標準化にばかりこだわると足かせとなります。儒学全盛で、しか

も開国を巡って、西洋を夷狄とみなす人たちがいた幕末から明治にかけて、福澤先生が大変な勇気をもって洋学を持ち込んだように、私たちも未来を見据え、教育の本質を追い求めていきたいものです。

来年4月からは、対面授業を全面的に行う予定にしていますが、全てコロナ前に戻るわけではありません。例えば理工学部の実験の授業について、私は以前から前もって説明ビデオを視聴してくることを提案していましたが、今やこれも可能です。今後は教員と学生で新しい授業、キャンパスを積極的に作っていきたく。1年半にわたり、通常のキャンパスライフができないままだった今の2年生については、まさに《新しいキャンパスを作っていく人たち》として、励まし続けていきたいと思えます。

受験生へのメッセージ

最近では、志望校選択において塾や保護者の影響が強まっていて、みなさんはその殻を破りにくくなっているように感じています。しかし将来、明るく楽しい、豊かな社会を作るのは他ならぬみなさんです。将来に悔いを残すような選択は極力避けてほしい。大学へ行かなくてもできることもあります。また第1志望合格を貫いて浪人するという選択肢もあるでしょう。

最悪を想定する知力と想像力は、高校時代から育めます。チームワークも大切にしてほしい。前に進むためにも困難を克服するためにも欠かせないからです。みんなとともに新しい社会を作るためには、周りから応援される人、言い換えると「祝福された勝者」にならなければなりません。そのためには無駄とも思えることもたくさん経験することです。無駄は人生において必ず何かに役立ちますし、それを省くような人には誰もついてきません。そして社会の様々な問題に対して、「このままではだめだ」「こういう社会を作ってはどうか」と諦めずに前向きに話し合うことです。

質の高い教員の揃った慶應義塾では、ここまでお話ししたように、教員同士の協調も進んでいます。他の大学と同様、私たちはみなさんにより良い環境を用意すべく全力で努力していきたくと考えています。

あらためて、どうなるこれからの大学入試II

京都大学の新アクションプランから (入試改革、研究者養成の強化)

理事・副学長(財務・入試担当)村上 章先生に聞く



京都大学理事・副学長
(財務・入試担当)
村上 章 先生

Profile

1956年広島県生まれ。1978年3月京都大学農学部卒業、1980年3月京都大学大学院工学研究科修士課程修了、1980年4月兵庫県技術職員、1982年4月京都大学農学部助手、1994年10月同助教授、1997年4月同大学院農学研究科助教授、1999年10月岡山大学環境理工学部教授、2009年10月京都大学大学院農学研究科教授、2019年4月京都大学大学院農学研究科長・農学部長を経て2020年10月から現職。専門は農業土木学、地盤工学。大阪府立豊中高等学校出身。



農学部の実験室風景(2019年秋撮影)

2027年までに 女子学生比率を5%増

本学の行動計画である「京都大学重点戦略アクションプラン」では、男女共同参画社会の実現、女性活躍推進のために、別途策定している「京都大学男女共同参画推進アクションプラン(2022～2027年度)」の内容を盛り込み、女性教員・女子学生の比率を高めることを目指す。欧米の一流大学について、ハーバード大学、イェール大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などで学生の男女比はほぼ1対1。日本の大学はそれに比べるといかに劣る。この低さでは、女性の能力を正に評価していないのではとの誤解も招きかねない。日本においても優秀な女性教員が多いことは、本学に限らず明白だ。ちなみに、今春の特色入試合格者で、初の飛び入学生も女子だ。

研究室での女性教員の採用や登用をはかるには、入学してくる女子学生を増やす必要がある。学部の女子学生比率は2021年度で22.2%。部局別に見ると、教育学部(44.9%)、薬学部(41.5%)、文学部(39.0%)、医学部人間健康科学科(66.2%)、農学部(35.0%)と高いところもあるが、理学部(8.4%)や工学部(9.9%)のように低い学部もある(学部別は2021年5月1日調べ)。女子受験生がキャリアパスへの不安を感じていることが要因の一つであるかもしれないので、それに対する理解を深めてもらう必要があると考えている。

アクションプランでは、6年間で女子学生比率の5%増を目指す目標を掲げた。本学の一般選抜では学部単位の独立性が高いため、細かく戦略を立てやすい。高校生のための体験型学習講座「ELCAS(エルキャス)」(2008年に理学部からスタート)や、学びコーディネーター事業、都道府県教委との連携といった高大連携事業で、理系女子生徒向けの講座を開設した

り、女子学生や女性教員を講師として派遣するなど、女子生徒へ直接アピールするののも一つの方法だ。

また、7年目に入る特色入試は、入学者の52.5%(2021年度入試)が女子。学内での評価も定着してきているから、募集定員を増やすことなども検討したい。

入試改革

特色入試の発足当初の3年間、準備から実施に移行する過程で農学部委員として参画した。発足してしばらくの間は、どんな学生が入学してくるのか、一般選抜で入学する学生にうまく溶け込んでくれるかなど、不安もあったが杞憂だった。

特色入試入学者の多くは、従前からの一般選抜の入学者に伍して頑張りたいという思いが強いようだし、当初から博士課程に進みたいなど、目的意識もはっきりしている。『学びの設計書』の提出など、目指す学問分野への興味、入学後の勉学意欲などを問うていることによるのだろうが、やはり入学後に大事なことの1つは意欲だということがよくわかる。

選抜方法等の見直しも進んでいる。理学部では2021年度入試から、「数理科学入

試」(定員5人)に「生物科学入試」(定員5人)を加えた。生物科学入試では筆答試験を課さず、提出書類と口頭試問及び大学入学共通テストの成績で選考する。2023年度入試へ向けには、経済学部が総合型選抜から学校推薦型選抜に転換し、「文系型入試」(15名)と「理系型入試」(10名)を設ける。推薦要件には文系型入試もしくは理系型入試の求める人物像に合致した人材という項目を加え、「理系型入試」では数Ⅲの履修と理系科目のいずれかで顕著な成績を残すこと、「文系型入試」では、課外活動等で顕著な実績を上げることなども要件とする。詳しくは学生募集要項で確認してほしい。

一方、広く海外から優秀な学生を受け入れる『Kyoto iUP(Kyoto University International Undergraduate Program)』も、キャンパスのグローバル化や学生の多様化、優秀な人材を日本へ招くためにも力を入れてきたが、コロナ禍によって大きな打撃を受けている。世界的な感染状況の好転を待つしかない。今後入学生が期待される国としてインドが挙げられる。インドでは優秀な生徒が多いが、彼らの関心は欧米やオセアニアの有力な大学にあり、日本へは言葉のハンデが障壁となっている。彼らの日本への関心をどう高めるかが大きな課題だ。

研究者養成の強化

研究を重視する大学では研究者養成も重要だが、本学に限らず、博士課程進学者の減少が大きな問題となっている。これを受け、国による新たな施策、JST(科学技術振興事業団)による「次世代研究者挑戦的プログラム支援事業」が今年度からスタートした。京都大学では、博士課程学生1学年あたり160名程度が恩恵を受けられるようになった。これに昨年度スタートしたフェロウシップ創設事業100名程度と、日本学術振興会(学振)による特別研究員DC1・DC2(300名程度)を合わせると、全研究科の入学定員の約半数がカバーされることになる。これは従前に比してかなりの改善となり、博士課程進学者の増加が期待される。

高校生へのメッセージ

最近の高校生と接していると、高校時代にある程度の進路を決めておかなければならないと考える生徒が増えていると感じる。総合型選抜のウエイトが高まるとの予測から、進路を明確にしておかないと「意欲がない」とみなされると考えるのだろうか。あるいはそういう指導が行きわたっているのか。進路について考えることはもちろん大事なことで、高校生の多くは教科のイメージで学問内容を想像することになるので、細かく分化し、あるいは融合するなどして複雑化する学問分野について知り、自らの進路を決めるのは必ずしも容易でないかもしれない。

本学の理系学部では入学時に学科が決まっているが、工学部や農学部のように学科の多い学部でも学科のカバーする領域はこれまでよりずいぶん広がっている。大学入学後の勉強を経てから、専攻を決めることも十分ありうる。



大学独自の奨学金制度特集

四国・九州編

「大学独自の奨学金制度(四国・九州編)」特集をお届けします。掲載しているのは9月15日までにアンケートに回答のあった大学。大学院、短期大学、外国人留学生、社会人、3年次編入についての奨学金は原則省いています。対象人数が実績ベースのところ、また記載内容が変更されることもありますので、詳細は必ず各大学にお問い合わせください。また対象学年を限定したものについては極力但し書きを付けましたが(表記は原則「年」で統一)、学部・学科別や、入試方式によって要件の異なるスカラーシップ型のものについては詳細を省きました。国立大学の一部には、前年度のデータのままとのころもあります。掲載情報とは別に、新型コロナウイルス感染症や災害対応のための奨学金による経済支援を行っている大学もあります。詳細については必ず各大学のHP、パンフレット等でご確認下さい。

注1) 奨学金の名称に大学名が入っているものについては、紙面の都合により大学名を省略して掲載しています。
例: ○○大学奨学金→奨学金

注2) 成... 高校在学中の学業成績優秀者対象の奨学金(運動、課外活動など含む) 入... 入試成績優秀者対象の奨学金 資... 資格取得者対象の奨学金
経... 主に経済支援者対象の奨学金 出... 定められた地域出身者対象の奨学金 他... 課外活動等、その他の奨学金

注3) 掲載内容は調査時期(2021年9月)現在のものです。変更されている場合もありますので、各大学のパンフレット・ホームページ等でご確認下さい。

注4) 「高等教育の修学支援新制度」を利用する場合、各大学の奨学金制度との併用ができない、または給付・減免額の減額等の制限がある場合もありますのでご注意ください。

・記載されている支給期間について、2年以上であって進級時に成績等による更新の審査が行われることがあり、成績によっては資格を失効する場合があります。・採用人数は、上限または予約採用の候補者数で、実際の採用人数とは異なる場合があります。

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額		
私立大学													
四国大学													
教育特別奨学金制度	入	40名	給付●20万円	福岡歯科大学	専願特待生制度	入	16名	減免●6年間で650万円	南九州大学	総合型選抜(1期)特待生制度(全学科対象)	入	減免●入学金の全額(管理栄養学科は半額)	
地域創生人材育成奨学金制度	入	10名	給付●40万円	福岡女学院大学	一般選抜(前期)A方式(前期)A方式(共通テストプラス)特待生	入	各学科1名	給付●授業料の全額相当	日本学校農業クラブ活動特待生制度	入	条件に該当する者全員	減免●入学金の全額	
スポーツ分野特別奨学金制度	入		給付●80万円~20万円	福岡女学院大学	学校推薦型選抜入学試験合格者対象特待生	入	各学部1名	給付●授業料の全額相当	フューアレンジメントコンテスト特待生制度(産業教育フェア)	入	条件に該当する者全員	減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	
芸術・メディア・ダンス分野特別奨学金制度	入		給付●80万円~20万円	福岡女学院大学	一般選抜(共通テスト単独方式(期))特待生	入	各学科1名	給付●授業料の全額相当	日本農業技術検定特待生制度	入	条件に該当する者全員	減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	
文化活動分野特別奨学金制度	入		給付●40万円または20万円	福岡女学院看護大学	入学時学業奨励奨学金	入	2名	給付●75万円	技能五輪(造園)全国大会特待生制度	入	条件に該当する者全員	減免●授業料の全額または半額	
グローバル分野特別奨学金制度	入		給付●80万円または40万円	福岡女学院看護大学	入学時学業奨励奨学金	入	2名	給付●75万円	全国造園デザインコンクール特待生制度	入	条件に該当する者全員	減免●授業料の全額または半額	
徳島文理大学													
徳島文理大学特待生	入	100名(定数あわせて)	給付●4年間100万円	活水女子大学	一般選抜(特待生選抜)	入	8名	減免●授業料と施設設備費の全額または半額	造園技能士検定特待生制度	入	条件に該当する者全員	減免●授業料の半額	
薬学部 香川薬学部特待生	入	31名	減免●型国立薬学部の入学金とほぼ同額に減免	鎮西学院大学	特待生制度	成人資格	30名	減免●S特待生:入学金と授業料の全額(2年次以降は授業料の50%)A特待生:授業料の50%B特待生:授業料の20% C特待生:授業料の10%減免●SG特待生:入学金と授業料の全額	学校推薦型選抜(指定校・公募)特待生制度	入	入	減免●入学金の全額または半額	
薬学部 香川薬学部地域限定特待生	入	15名	減免●型国立薬学部の入学金とほぼ同額に減免	鎮西学院大学	特待生制度	成人資格	若千名	減免●S特待生:入学金と授業料の全額(2年次以降は授業料の50%)A特待生:授業料の50%B特待生:授業料の20% C特待生:授業料の10%減免●SG特待生:入学金と授業料の全額	学校推薦型選抜II期(指定校)入学半額免除制度	入	入	減免●入学金の半額	
スポーツ特待生	入	若千名	給付●4年間で最大100万円	鎮西学院大学	特待生制度	成人資格	若千名	減免●S特待生:入学金と授業料の全額(2年次以降は授業料の50%)A特待生:授業料の50%B特待生:授業料の20% C特待生:授業料の10%減免●SG特待生:入学金と授業料の全額	一般選抜(1期)特待生制度	入	各学部、全部半額各1名	減免●授業料の全額または半額	
音楽特待生	入	若千名	給付●4年間で最大100万円	鎮西学院大学	特待生制度	成人資格	若千名	減免●S特待生:入学金と授業料の全額(2年次以降は授業料の50%)A特待生:授業料の50%B特待生:授業料の20% C特待生:授業料の10%減免●SG特待生:入学金と授業料の全額	共通テスト利用選抜特待生制度(全学科対象)	入	条件に該当する者全員	減免●授業料の全額	
四国学院大学													
予備型支給奨学金	入	35名	給付●20万円	長崎外国語大学	特別奨学金 SS-1	制限なし		給付●25万円	宮崎国際大学	成績特待	入	16名	減免●授業料の全額または半額
舞台芸術特別奨学金	入	5名	給付●授業料の全額または半額相当	長崎外国語大学	特別奨学金 SS-2	制限なし		給付●25万円	宮崎国際大学	資格特待	入	若千名	減免●授業料の全額
高松大学													
特別奨学生	入	奨学生全体40名	給付●入学金と授業料の全額、授業料の全額、授業料の半額、入学金の全額、入学金の半額相当のいずれか	長崎外国語大学	スカラーシップ入試奨学金	制限なし	10名	給付●授業料・施設設備費の全額または半額相当	宮崎国際大学	推薦特待	入	該当者全員	減免●入学金の全額
小学校教員養成特別奨学生	入	奨学生全体40名	給付●入学金と授業料の全額、授業料の全額、授業料の半額、入学金の全額、入学金の半額相当のいずれか	長崎国際大学	特待生	入		減免●S 授業料の全額 A 授業料の75% B 授業料の50% C 授業料の25% D 入学金の全額	宮崎産業経営大学	特待制度 学校推薦型選抜	入		減免●A①:入学金・授業料の全額 A②:入学金および授業料の半額 B:入学金および授業料の半額 C:教育拡充費の全額 D:教育拡充費の全額※C・DはJASSO「給付型奨学金」併用
職業会計人育成特別奨学生	入	奨学生全体40名	給付●入学金と授業料の全額、授業料の全額、授業料の半額、入学金の全額、入学金の半額相当のいずれか	長崎国際大学	特待生	入		減免●S 授業料の全額 A 授業料の75% B 授業料の50% C 授業料の25% D 入学金の全額	宮崎産業経営大学	特待制度 一般選抜	入		減免●入学金の全額
九州栄養福祉大学													
特待制度	入	11名	減免●学費の半額	九州看護福祉大学	学業特待生(入学特待生)	入	20名	減免●看護鍼灸リハビリ95万円、福祉口腔60万円	鹿児島国際大学	HONORS特待生入学試験	入		減免●入学金の全額と授業料の全額
九州共立大学													
学力特待生制度	入	28名	減免●【K-CIP特待】SA:入学金・授業料・教育充実費・施設費の全額 A:授業料の全額 B:授業料の半額【一般特待】A:授業料の全額 B:授業料の半額	九州看護福祉大学	学業特待生(入学特待生)	入	20名	減免●看護鍼灸リハビリ95万円、福祉口腔60万円	鹿児島国際大学	入学試験成績優秀者学費等減免制度(総合型選抜I-II、学校推薦型選抜A-B-C)	入		減免●入学金の全額
資格保有者 優遇制度	入		減免●入学金の全額	熊本学園大学	新入生特待生制度	入	60名	減免●授業料の半額	鹿児島国際大学	入学試験成績優秀者学費等減免制度(一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜前期)	入		減免●入学金の全額と授業料の半額
九州国際大学													
構奨学金	入	23名	減免●授業料の全額または半額	熊本学園大学	入試前予約型奨学金制度	入	10名	減免●授業料の半額	鹿児島国際大学	鹿児島県外・離島から入学する学生に対する学費等減免制度(総合型選抜I-II、学校推薦型選抜A-B)	入		減免●入学金の全額と授業料の1/4
九州女子大学													
人間科学部 指定校特待制度	入	制限なし	減免●入学金の全額	熊本保健科学大学	総合型選抜奨学金制度	入	19名	減免●40万円	第一工科大学	授業料減免制度 特別奨学生制度	入		減免●授業料の50万円または30万円または15万円
沖縄県出身者入学金免除制度	入	制限なし	減免●入学金の全額	熊本保健科学大学	入学前予約型奨学金制度	入	10名	減免●40万円	第一工科大学	授業料減免制度 女子特別奨学生推薦(リケジョチャンネル)応援奨学金制度	入		減免●授業料の50万円または30万円または15万円
学力特待生制度	入	若千名	減免●授業料の全額または半額	熊本保健科学大学	入学前予約型奨学金制度	入	50名	減免●授業料の全額	第一工科大学	授業料減免制度 総合型	入		減免●授業料の50万円または30万円または15万円
資格保有者優遇制度	入	制限なし	減免●入学金の全額	崇城大学	ミライクプレミアム	入		減免●授業料の全額	沖繩大学	学校推薦型選抜特別奨学生制度	入		減免●授業料の半額
西南女学院大学													
特待生制度<一般選抜(前期)>	入	39名	減免●授業料の半額	崇城大学	ミライク50	入		減免●授業料を50万円に減免	沖繩大学	大学入学共通テスト利用入試減免制度	入		減免●得点に応じて25%~全額
聖マリア学院大学													
特待奨学金	入	10名程度	減免●20万円(後期授業料より減免)	崇城大学	アートミライクプレミアム	入		減免●授業料の全額(芸術学部)	沖繩大学	児童福祉特別奨学生制度	入		減免●授業料の半額
第一薬科大学													
特待生選抜	入	25名	給付●S:140万円 A:70万円	崇城大学	アートミライク50	入		減免●授業料を50万円に減免(芸術学部)	沖繩クリスト教学院大学	学校推薦型選抜特別奨学生	入	5名	減免●授業料の1/2
特待生選抜	入	5名	給付●50万円	平成音楽大学	特待生制度	入	若千名	減免●①授業料の半額程度 ②授業料の半額程度 ③授業料の半額程度 ④授業料の1/4程度 ⑤入学金減免●10万円	沖繩クリスト教学院大学	一般選抜(前期)特別奨学生	入	1名	減免●授業料の全額
特別奨学金	入	若千名	給付●70万円	日本赤十字九州国際看護大学	特待生制度	入	若千名	減免●①授業料の半額程度 ②授業料の半額程度 ③授業料の半額程度 ④授業料の1/4程度 ⑤入学金減免●10万円					
中村学園大学													
特待生制度	入	若千名	減免●入学金、授業料および維持充実費の全額	日本赤十字九州国際看護大学	学部新入特待生制度	入	10名	減免●入学金の全額					
流通科学部	入	若千名	給付●①海外渡航旅費の実費全額(リポート、ピザ申請料は除く) ②留学先授業料(120万円を上限)※原則1年間	日本赤十字九州国際看護大学	学部新入特待生制度	入	10名	減免●入学金の全額					
グローバル人材育成選抜	入			日本経済大学	入学金免除	入		減免●入学金の全額または半額					
西日本工業大学													
特別奨学生	入	20名	減免●授業料の全額	日本経済大学	特待生入試	入	25名	減免●合格区分に応じ最大で授業料の全額					
奨学生(就学サポート)	入	70名	減免●授業料の半額	福岡大学	入試成績優秀者奨学金「FUSカラーシップ」	入	800名	減免●授業料の半額					
奨学生(地域サポート)	入	20名	減免●授業料の半額	福岡大学	奨学金(所得基準あり)	入	商二部合計で10名以内	減免●入学申込金・授業料・教育充実費のうち45万円					
日本赤十字九州国際看護大学													
学部新入特待生制度	入	10名	減免●入学金の全額	福岡大学	奨学金(所得基準なし)	入	商二部合計で10名以内	減免●入学申込金・授業料・教育充実費のうち45万円					
日本経済大学													
入学金免除	入		減免●入学金の全額または半額	福岡看護大学	特待生制度	入	10名	減免●授業料の全額または半額または30%					
特待生入試	入	25名	減免●合格区分に応じ最大で授業料の全額	福岡看護大学	看護職育成奨学金	入	3名	減免●授業料の全額または半額または30%貸与●5万円/月 ※条件を満たせば返還を免除					
福岡大学													
入試成績優秀者奨学金「FUSカラーシップ」	入	800名	減免●授業料の半額	福岡工業大学	学業奨学制度	入	597名(2021年度実績)	減免●授業の全額または半額					
商学部第二部奨学金(所得基準あり)	入	商二部合計で10名以内	減免●入学申込金・授業料・教育充実費のうち45万円	福岡国際医療福祉大学	特待奨学生制度	入	20名	減免●特待奨学生S:授業料の全額 特待奨学生A:授業料の半額					
商学部第二部奨学金(所得基準なし)	入	商二部合計で10名以内	減免●入学申込金・授業料・教育充実費のうち45万円										
福岡看護大学													
特待生制度	入	10名	減免●授業料の全額または半額または30%										
看護職育成奨学金	入	3名	減免●授業料の全額または半額または30%貸与●5万円/月 ※条件を満たせば返還を免除										
福岡工業大学													
学業奨学制度	入	597名(2021年度実績)	減免●授業の全額または半額										
福岡国際医療福祉大学													
特待奨学生制度	入	20名	減免●特待奨学生S:授業料の全額 特待奨学生A:授業料の半額										

【お詫びと訂正】144号(2021年9月29日発行)にて、下記の通り誤記がございましたので訂正しお詫び申し上げます。

<誤>

福山大学	特別奨学生A	入	285名(2021年度実績)	減免●年授業料の半額
福山大学	特別奨学生B	成人	190名(2021年度実績)	減免●授業料の40%(薬学部は30%)
福山大学	特別奨学生C(経営・人間文化)	成人	2名(2021年度実績)	減免●授業料の半額

<正>

福山大学	特別奨学生A	入	285名(2021年度実績)	減免●授業料の半額
福山大学	特別奨学生B	成人	190名(2021年度実績)	減免●授業料の40%(薬学部は30%)
福山大学	特別奨学生C(経済・人間文化)	成人	2名(2021年度実績)	減免●授業料の半額

<誤>

福山平成大学	特別奨学生A	入	25名(2021年度実績)	減免●授業料の40%
福山平成大学	特別奨学生B	成人	90名(2021年度実績)	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免するとともに、授業料の40%(看護は30%)
福山平成大学	特別奨学生C	成人		減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免するとともに、授業料の40%

<正>

福山平成大学	特別奨学生A	入	73名(2021年度実績)	減免●授業料の40%
福山平成大学	特別奨学生B	成人	90名(2021年度実績)	減免●入学金を15万円に減額するとともに、授業料の40%(看護は30%)
福山平成大学	特別奨学生B(経営)	成人		減免●入学金を15万円に減額するとともに、授業料の40%

始動、STEAM教育 生命科学における文理融合とは

「グリーンインフラ」ってなに？

気候変動の対策にあわせて、生物多様性の保全にも注目！

本年8月、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が地球温暖化の原因は二酸化炭素などの温室効果ガスの増加であるとこれまで以上に強く打ち出したことで、世界各国の気候変動への対策、温室効果ガスの排出量削減の動きは一層加速されています。それに伴い、環境ビジネスの展開も活発です。一方で、日本ではまだ注目度の低い生物多様性の保全も新たな問題として浮上するのではないかと予想されています。こうした中、キーワードとして期待されるのが国(国土交通省)も後押しする「グリーンインフラ」。環境政策学の観点から研究されている西田先生にお聞きしました。

ゲームで生物多様性を知り、グリーンインフラづくりにも貢献

最初に面白いアプリを紹介します。ゲーム感覚で動植物の写真を撮り投稿したり、名前を検索したり、他のユーザーがアップロードした情報を図鑑代わりにできる「いきもの」コレクションアプリBiome【写真右】です。日本国内の約9万2800種の動植物を収録していて、既に40万回ダウンロードされ、アクティブユーザは、1万人を超えられているとされています。

運営するのは株式会社バイオーム。大学院時代を過ごした京都大学発のベンチャーで、その縁から、研究室の学生をインターンに派遣するなどしていましたが、この夏、本学は大学として初めて正式に業務提携し、教育用コンテンツの開発などを共同で行っています。

生物多様性の保全が難しいのは、それを計測する指標がないこと。まずは地球上に生物がどれだけいるのかを調べることが必要ですが、このアプリケーションは、ユーザーが「都市にもこんなに生き物があるんだ!」などと、その多様性に気づき、楽しみながらその維持に役立てる可能性を秘めています。また街路樹のモニタリングや、生き物の生息地の変化から周囲の温暖化を見るなど、様々な使い方ができると期待しています。

そもそもグリーンインフラとは、一言で言えば自然の機能を活用してインフラを整備するという概念。もう少し詳しくは、社会資本整備や土地利用において、自然環境の持つ多様な機能(生物の生息、生育の場の提供、良好な環境形成、気温上昇の抑制等)や仕組みの一つのインフラと捉えようということ。自然を「守る」、維持するという目的に加え、それを積極的に「活用していく」点に新しさがあります。わかりやすい事例が防災・減災に向けた活用。近年は温暖化の影響で、各地でこれまでに経験したことのないようなゲリラ豪雨が頻発し大きな被害をもたらしています。このゲリラ豪雨、予測が難しく、また国の財源が乏しいこと



もあり、その対策に堤防を一気に増やすというわけにはいきません。今や、「何としても防ぐ」とともに「いかにリスクを下げるか」という考え方が必要となります。そこで「流域治水」という画期的なアプローチがあります。雨を素早く川に集めて海に流すのではなく、広い面積でゆっくり貯水してからゆっくり川に流し、災害リスクを下げる。必要な関連法案もこの春整備されました。例えば、自然再生に貢献する遊水地(静岡市)【写真下】の活用や、市街地では、雨水貯留浸透機能を備えた植栽帯の整備を進めることがあるかもしれません。コストが下がることや、景観の改善により、人が滞留することで経済の活性化も期待されます。世界的にもこの取組は広がっていて、都市が急成長する事例も出てきました。

私たちは今、そのグリーンインフラの適地探しにBiomeを使って挑戦しています。クエスト機能を使って利用者に、主に湿地に生える植物を探してもらいます。そしてそれを集めて分析することで、一般の人でも簡単に適地が探せるのではないかと期待しています。すでに7月から茨城県守谷市でその実証実験*を始めていて、10月までかけて「じじい植物からグリーンインフラのタネを探そう!」というクエストを設定、子どもを含めた市民による「AI Moriyaいきもの調査隊」に呼び



かけました。クエスト達成者は最大5000円相当の地域通貨Moriya green pointがもらえるというインセンティブもあり、地産地消の食品などが購入できるなど、消費も喚起すると好評です。楽しく、お得意もあり、しかも社会インフラづくりに貢献できるのです。

*「守谷グリーンインフラプロジェクト」: 4年目に入る守谷いきもの調査隊の一環。株式会社バイオームと屋上緑化で実績のある東邦レオ株式会社、株式会社福山コンサルタントと本学によるプロジェクト。令和3年国土交通省のスマートシティ関連事業で「グリーンインフラスマートシティ 自然共生型スマートシティモデル事業」として選定されている。

ESG投資、金融業界からも注目!

私の専門は環境政策学、自然環境の価値を活かして社会課題の解決を図ることを研究テーマとしています。このため、研究だけで活動することは少なく、多くの場合は行政機関(国や自治体)や企業の皆様と連携してもらいながら研究を進めており、特にグリーンインフラに関するプロジェクトには様々な形で参画させてもらっています。

また、最近では、ESG投資(社会、環境、ガバナンスを考えた投資)が、金融機関や投資家から大きな注目を集めています。国連開発計画などによる「TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)」「(企業の事業活動がもたらす「自然資本」へのリスクと機会を適切に評価、対外的に報告できることを目指す)の発足を受け、「自然資本」というものに投資家が敏感になりだしたからではないかと考えています。自然資本とは「森林、土壌、水、大気、生物資源など、自然によって形成される資本(=ストック)」。例えば木材を扱う企業であれば、木を伐採した後の環境へ配慮しなければならぬということ。扱うものが水や鉱物であっても同様で、来春から東証一部に代わるプライム市場では、今後、こうした自然情報の開示も求められる可能性があります。すでにヨーロッパでは、大手投資機関がその評価方法を考えるなど、新たなルールづくり、対応する最先端の環境技術の開発が始まっていて、今後この流れが日本にも波及

する可能性は極めて大きいと考えられています。

この10月には、国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)が開催されました。温室効果ガスの排出削減に加え、世界では今後、このような自然資本との関連で生物多様性を重視する姿勢はますます強くなると予想されます。健康な水には、様々な微生物に始まり豊かな森林が欠かせないというように、生物多様性は原材料の調達にも直結します。多様性は一旦失われ始めると元に戻すには膨大なコストがかかりますし、絶滅したものは元へ戻すことができないのです。

高校生へのメッセージ

生命科学を分野融合で学び、脱炭素社会に貢献

生命科学部、特に産業生命科学科は、生命科学について学び、その知見をベースに社会課題の解決に取り組む学科です。生き物の研究が好きな人だけでなく、様々な人と協働して社会課題を解決する政策やビジネスに携わりたい人なども集まっています。企業活動とどう結びつけていくのかを考えるには、経済学的な視点も必要です。海外とのやりとりでは英語も必要です。地理や歴史、政治経済にも視野を広げておく必要もあります。まさにSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)を意識し、文理融合、分野横断で学んだ人が活躍できる世界が開かれています。バイオから生物多様性・グリーンインフラまで、これほど幅広く生命科学を学べる学部はそれほど多くはないと思います。在学中から企業や自治体と協働する機会もありますし、卒業後は、バイオ・環境分野だけでなく、公共部門、金融、建設・建築分野など多岐にわたるキャリアが考えられます。

新しい価値観が生まれる時代には、新たな市場が生まれ、経済活動も盛んになります。本学部で共に学び、その学びを活かして持続可能な社会の構築に貢献してほしいと思います。

京都産業大学
生命科学部
産業生命科学科 准教授
西田 貴明先生



Profile

2004年京都府立大学農学部卒業。2006年京都大学大学院理学研究科生物科学専攻修士課程修了。2009年同博士後期課程修了、博士(理学)。2006年から2009年、日本学術振興会特別研究員(DC1)。2009年4月から、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、政策研究事業本部の研究員として、官庁の様々な政策研究調査や民間企業の環境経営のコンサルティングに10年間従事。2019年4月より現職。国土交通省グリーンインフラ官民連携プラットフォーム運営委員。神奈川県立七里が浜高等学校出身。

ONLY ONE CAMPUS
ここから、自分だけのストーリーを。

入試制度	試験日	出願期間	合格発表日	
一般選抜入試 【前期日程】	スタンダード3科目型 ┆ 高得点科目重視3科目型 ┆ 大学入学共通テストプラス	1/27(木) 1/28(金) 2/2(木)	1/4(火)~1/13(木) (23:00締切)	2/12(土)
	スタンダード2科目型 ┆ 高得点科目重視2科目型 ┆ 大学入学共通テストプラス	2/3(木)		
大学入学共通テスト利用入試 【前期】		本学での個別学力試験は実施しません。		
一般選抜入試 【中期日程】	スタンダード3科目型 ┆ 高得点科目重視3科目型 ┆ 大学入学共通テストプラス	2/16(木)	1/4(火)~2/3(木) (23:00締切)	2/25(金)
一般選抜入試 【後期日程】	スタンダード2科目型	3/10(木)	2/18(金)~2/26(土) (23:00締切)	3/18(金)
大学入学共通テスト利用入試 【後期】		本学での個別学力試験は実施しません。		

*詳細は、入学試験要項2022をご確認ください。

入学センター

〒603-8555
京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1437

京都産業大学 検索

むすんで、うみだす。
京都産業大学
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

- ┆ 経済学部
- ┆ 経営学部
- ┆ 法学部
- ┆ 現代社会学部
- ┆ 国際関係学部
- ┆ 外国語学部
- ┆ 文化学部
- ┆ 理学部
- ┆ 情報理工学部
- ┆ 生命科学部

特別
寄稿

ポストコロナへ向けて あらためて留学生と学ぶ意味を考える

立命館アジア太平洋大学 (APU) 東京オフィス所長
伊藤 健志

Profile

2002年に立命館アジア太平洋大学APUに入職。交換留学、学生募集、学長室などを経て2017年から現職。

コロナ禍のAPU

2021年9月24日、立命館アジア太平洋大学 (APU) は、22回目の秋入学入学式をオンラインで行い、64ヵ国・地域より508名の新入生の入学を祝った。ただし、秋入学の大半を占める国際学生 (APUでの留学生の呼称) には入国に必要なビザが発給されず、入国したのはほんの数名の国費等留学の大学院生のみ。2021年11月現在、今秋入学を含む2,535名、95ヵ国・地域の国際学生のうち1,000名弱は入国出来ていない。コロナ禍の現在、世界中で短期の交換留学は止まっているが、APUではこの状況でも別府在住の1,500人を超える正規の国際学生と対面での授業や課外活動などが行っている。

現在、大学の授業形態は対面を基本としつつ、同時に世界とZOOMで繋ぐ形式を取っている。オンライン授業の満足度は対面と比しても低くなく、授業としては問題なく成立しているが、大学には当然のことながら、入国を待ちわびる切実な声日々届けられる。授業を受ける際の時差などの問題のみならず、世界には言論の自由が保障されていない国は数多あり、ログの残るオンラインでは自らの安全性の確保のため自由な発言が制限されるというような事情も存在する。そもそも価値観や文化が大きく異なる他人同士のディスカッションでは、心理的安全性が確保されない限り、本音の議論は難しい。心理的安全性は、寮生活やサークル活動など生活全般を共にすることにおいてはじめて成立する。ここがオンラインの限界であり、早期に入国が許可されることを願うばかりである。あるアフリカの学生は、少なくとも武力や国家権力で自由が制限されることの少ない平和な日本であるからこそ、世界中の学生達が自由闊達に意見を交わすことが出来ると述べている。日本という場合は、世界の学生達が学ぶ場としてもっと世界にアピールされている。

毎年約200名の国際学生は、卒業後も日本に残り、ビジネスの場で、あるいは研究者としてキャリアをスタートする。イノベーションとは、異質な知恵の新しい組み合わせによる新たな価値創造



だとすれば、日本社会における高度外国人材の果たす役割は計り知れない。マッキンゼーのレポートによると、民族的に多様な企業はそうでないものより35%業績が高いという (Why diversity matters, 2015)。留学生の存在は、自由闊達に意見交換が出来る貴重な大学という学びの空間を多様性溢れる環境とし、学生達の学びの質を豊かにする。

多国籍間の対話が 国内学生を劇的に変える

学内では授業のみならず、カフェテリアなどでもよく見られる光景だが、例えばウズベキスタン、インドネシア、アメリカ、サモアなどの学生がラウンドテーブルで喧々諤々の議論をする場面を想像して欲しい。誰かが発した「自由」という言葉の定義も、全員にとって同じではない。誰もが圧倒的マジョリティを形成しない空間で、「なぜ」を繰り返す、最適解を探っていく。全員がある種の居心地の悪さを感じつつも、この多文化間の対話のプロセスこそが、自らの経験や知識を疑問視させ、自らの考え方にバイアスや枠が存在することに気づかせてくれる。いわば、学びの基礎となるメタ認知力というものを強化することにつながっている。2000年の開学当初、世界でも比類のない留学生比率50%としたのは、日本的価値観に支配されない議論の場を作るためでもある。学生達は、この環境に置かれることで劇的な変化を遂げていく。2012年、日中韓の関係が悪化した際、当該国の学生のみならず、様々な国の学生と一緒に参加した議論に居合わせた。各国の学生達が自分達の立場を語る中、バングラデシュの学生が挙手し発言した。「バングラデシュのような途上国は、日中韓三国をアジアのリーダーとして認識しています。皆さんはアジアと世界に対してこれからどういう役割と、責



任を果たそうとしているのか?」と。当事者同士の内向きの論議も、一瞬で風向きが変わることを実感した。

国際社会のリテラシー

「授業は全て英語で、グローバル人材を育成します」。よくある大学の宣伝文句であるが、これには強い違和感を禁じ得ない。上記のような場では、英語が必然であるという極めて明確な目的があり、日本人学生はその目標のために必死で言語を学ぶ。しかし、世界と意思疎通できないのは、言語以上にもっと本質的な課題があることに気づく。それは、リテラシー (共通理解のツール) と、社会情勢に根差す課題意識のズレである。人種や民族、宗教の違いや格差などにより、国内においてすら暗黙知が通じない国が多勢を占める環境において、全員が共通理解を得るには、データ (統計など) や人類の共有知識の引用は必須であり、データを読み解く力がなければ判断を誤ることとなる。Figures don't lie, but liars do figure. (Mark Twain) (数字は嘘をつかないが、嘘つきは数字を使う) 共通認識が曖昧な場ではデータを示す、即ちサイエンスに基づくエビデンスの提示と論理的な議論展開をしない限り、みんなが頷くことはない。とすれば、グローバルな場で必要とされるリテラシーは、英語よりも数学 (サイエンス) であることがわかる。空気が読めて、阿吽の呼吸が通じる日本人が多勢を占める議論の場においては、そこに気づくことすらない。英語以上に重要な読解力や批判的思考力 (国語)、生きるものの森羅万象を読み解く力 (生物)、地理や歴史…。高校時代に学ぶ全ての知識は、受験のためではなく世界と分かり合うためのリテラシーであり、すぐに使える道具であることを、世界を舞台とすればするほど痛感することになる。

世界とのギャップを埋めるには

世界では、複数の国と陸地で国境を接した国の方が圧倒的に多く、民族、宗教、隣国との経済格差、移民・難民問題などは「今そこにある危機」である。世界地図を拡げて日本を眺めれば、四方を海に囲まれた世界3位の経済大国は地政学的にも社会背景的にも極めて特殊な位置を占め、日々のイシューには世界と大きなギャップがあると言わざるを得ない。多くの新興国や途上国には、かつての日本のように右肩上がりの経済を背景に、これから国や社会を創っていく気概に溢れた若者に溢れている。彼らは、いわば日本の高度成長時代の黎明期に、ソニーやホンダなど、リスクを恐れず、果敢に世界に挑んだ先人たちの時代を、今まさに生きている。日本の起業家達がそうであったように、リスクを恐れず、まずはやってみようというスピード感をもって、世界という舞台にチャレンジの場を常に求めている。グローバル人材に育成するためのお膳立てを大学が用意するより、学生達を世界と混ぜて、自分らしいグローバルの定義を自分で探させる教育が重要なのであろう。世界から日本を眺める環境に身を置けば、自ずと視野も広がるはずだ。

探究学習で高大の接続を

APUでは、21年度より「世界を変える人材育成入試」と称する探求型入試を導入した。世界の学生との議論で必要なスキルは、高校での基礎的な知識がベースであることは前述したが、もっと重要なものは「問う」力である。同質性の高い日本社会に育った学生は一つの正解を求めることは得意だが、その前提条件を疑う力が弱い。中等教育に導入された探究的学びの基本は、自ら主体的に「なぜ」を問う学習者を育成することだが、特に異文化間の対話が基本となるAPUの学びの場では重要なリテラシーと位置付けられる。高大接続と言えば入試改革ばかりが話題となるが、APUでは高大で協働してinquirer (探求する人) を育成していく仕組みを作るべく、高校生と世界を混ぜる機会を提供したいと考えている。

雑賀恵子の 書評



他者の靴を履く

ブレイディみかこ
文藝春秋、2021年

相手の立場に立ってその人の気持ちを考えてほしい、と諭されたことはあるだろう。だが、たとえば、いじめをしている人の立場に立って、気持ちを考えて自分も同じ気持ちになったとしたら、いじめを肯定してしまうのではないか。共感するというのは、そんなことだろうか。そもそも、他人の立場に立ってものを考えることで他人を理解できるということは、他人と自分が「同じ」であり、交換可能なものであることが

前提となっていなければならない。その前提は、生まれも育ちも、ものの感じ方も何もかも違う人間において、いつも成り立つとは限らない。こうしてちょっと突き詰めると、他人の気持ちに対して共感する、ということは何を意味するのかさえ分からなくなってくる。とはいえ、他人とは理解できないものだとは切り捨ててしまえば、一歩も踏み出せないし、何も変わらない。

多様な存在の集まりである社会で軋轢を少なくしながら共存していくことや、個人間でもうまくやっていくことを「他者を理解すること」から考えるとき、「共感」がキーワードとして近年よく用いられるようになったが、エンパシーという言葉も耳にする。情緒的な意味に力点がかかるシンパシー=「同情」に對置するものとして、日本語ではエンパシー=「共感」としているようだ。著者は、ベストセラーとなった『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』でエ

雑賀 恵子

京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に『空腹について』(青土社)、『エコ・ロコス 存在と食について』(人文書院)、『快楽の効用』(ちくま新書)。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。

ンパシーという言葉に注目を向けた一人である。「共感」と訳されがちなエンパシーを、英語圏でも、論者ごとに異なると言ってもいいほど様な定義、意味で使われていることを解きほぐすことから始めて、多様性社会を保証するためのエンパシーを探ったのが本書である。

著者は、貧困家庭に育ち、高卒後英国に渡り、のちに保育士の資格を取って失業者や低所得者が無料で子供を預けられる託児所で働いたり、20数年英国社会でさまざまな経験を重ねて、現在英国で翻訳ライターとしての活動をしている人だ。経済格差と多様性という二つを根底に置いて発せられる彼女のレポートや著作は、とんがっているが、空気を求めて融通無碍に広がっており、ドライブ具合がかっこいい。

エンパシーをめぐる本書も、様々なフィールドを縦横無尽に駆け巡る。諸議論で使われるエンパシーの語義や歴史。大逆事件で検挙

され獄中死したアナキスト金子文子のエンパシー。米国の刑務所で行われる「回復共同体」プログラムのドキュメンタリー映画(坂上香監督)。SNS。ミラーニューロン理論からの脳内と共感の問題。コロナ禍によって剥き出しにされたケア階級と経済の問題。サッチャーの経済政策から見るシンパシーとエンパシー。ジェンダー…。いまここにある、この現在、この世界を剥き出しの肌が捉え、生きる足場をしっかりと確かめながら、彼女の文章はこちらに向かつてまっすぐ投げられる。「異なる者たちが共生している『あいだの空間』で民主主義(すなわち、アナキズム)を立ち上げるには、エンパシーが必要だ」という彼女のボールを、どう受け止めるか。「すなわち、アナキズム」を、わたしたちも知力を傾けて読みとこう。この「わたし」の生きる足場を固め、他者と共に思いっきり呼吸のできる空間を求めために。

16歳からの
大学論

第29回

京都大学
学際融合教育研究推進センター 准教授
宮野 公樹先生

Profile

1973年石川県生まれ。2010～14年に文部科学省研究振興局学術調査官も兼任。2011～2014年総長学事補佐。専門は学問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」講談社など。

全国初、学際研究に特化した学術誌「とितとうと」との創刊



異なる分野や業種が連携して協働する「学際」または「異分野連携」が流行って久しく、毎日のようにWEBニュース記事にて「学際的な…」、「異分野連携で…」といったフレーズを見かけます。我が国の大学において「学際」を掲げる研究所やセンター等の内部組織を検索してみると、その数、実に五十以上にもなりました。しかし、驚くべきことに「学際研究」に特化した論文誌は一つもありません。これが、今回、私の所属組織である京都大学学際融合教育研究推進

センターにて、全国で初めて分野を規定せずに論考を掲載する対話型学術誌「とितとうと」を発売するに至ったきっかけの一つです。しかし、本当の狙いは、今日の学术界に対する一つの挑戦でもあります。

研究者を揶揄する「Streetlight Effect」という言葉をご存知でしょうか。

とある夜の街角。警察官が地面に這いつくばって何かを探している男を見かけた。

警察官 「ここ(街灯の下)で、何か探してるんですか？」

男 「鍵を落としたんですよ」

警察官「それは大変ですね。一緒に探しましょう。この辺りですか？」

男 「いや、ずっと向こうなんですけどね。こっこの街灯の下の方が明るくて探しやすいから」

Streetlight Effectとは、街灯の下に落ちた鍵がない事を知っているにもかかわらず、探しやすいからという理由で灯りの下であるはずのない鍵を探している状況のことです。重要な研究対象や問

題に気づいているにもかかわらず、「できる事」のみに従事している研究者を批判しています。もちろん、できることからやり始めることは大事ですが、本当の問題に気づいていながらも、目先の業績向上、論文生産のために近道を選ぶことは、研究者人生を先細りさせることであり、ひいては学术界全体のためにもならないでしょう。もしかしたら、今日はさらに悪いことに、本当の問題があったことすら忘れてしまっている…そういう状況になってはいませんか。

先日の日経新聞記事、「日本の研究力、低落の一途」、日本は科学論文の影響力や評価を示す指標でインドに抜かれて世界10位に落ちたという内容はまことに衝撃的な内容ではありますが、論文をあまりに量的に扱う態度に、学者としては違和感が残ります。今大事なのは、そのような態度、考え方こそを批判的精神にて問い直し、そもそも研究者として自分は何をしたくて何をしているのか、そしてそれは何をしていることになっているのか、と思考することだと考えます。

今回創刊した対話型学術誌「とितとう

と」とい、研究テーマというよりむしろ研究者精神を磨きあうことを目的としています。個別の分野に押し込められた論文テーマではなかなか表現できない、探求者としての精神、人生をかけた問いについて掲載しています。そもそも我々が持つ問いが都合よくどこかの専門分野に収まるなんてことは最初からないので、結果的に本学術誌は学際的になるのです、学問がそうであるように。

編集作業では、様々な分野からなる8名の編集委員と投稿者として対話を繰り返します。それらはすべて公開していますし、そこには、科学哲学者・村上陽一郎氏、解剖学者・養老孟司氏、彬子女王にも加わっていただいています。しかもこの論考と対話は、言葉にならない意思、感覚を大切に、既存の「論文」という表現を最大限に拡張させるべく、写真家・伊丹豪氏の作品とともに掲載しています。既に多くのメディアに取り上げられAmazonでも思想史部門で5週連続1位にもなりました。ぜひ一度、手にとりご覧いただければ幸いです。

対話型学術誌「とितとうと」特設サイト <http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/project/toitoutoi/>

雑賀恵子の 書評



増補版 現代社会用語集

入江公康
新評論、2021年

例えば、「新自由主義」を引いてみる。説明文の中の一文。「(…)貿易自由化によって一国の経済を多国籍企業の食いものにするとともに、国内的には民営化と規制緩和、社会保障・福祉・医療・教育などへの公的支出削減を政策の柱に『小さな政府』をめざす。手前勝手な『自

己責任』の哲学をふりまわし、教育は自己投資、失業は能力不足のせいとほざく。なるほど。

次に「負債」。「(…)借りたらさいご、債務奴隷まっしぐら。負債は支配・統治の手段なのだ」として、国家に埋め込まれた負債システム＝資本主義について触れる。そして、「いっさいの負債はデッチアゲであり、したがう必要がない」。えっ、そうなの？

それなら「学費」。学費が高額なら、経済的に不利な家庭の子どもは大学に行けない。学生がバイト漬けなら、安価労働力が労働市場に大量参入するから賃金を押し下げる。親に出して貰えば、親への依存を生んで自立が奪われる。奨学金は高利の借金。返却のために定職に就かねばならず、生き方の多義性を殺す、と

雑賀 恵子

京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に「空腹について」(青土社)、「エコ・ロコス 存在と食について」(人文書院)、「快樂の効用」(ちくま新書)。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。

というのが要約。

性格が歪みそう？ いやいや、本丸をズバッと撃ってるよね、と納得する？

本書は題名の通り、「ことば」「ひと」「出来事」「シネマ」と四つのジャンルに分けて、五十音順に並んだ用語集である。用語集であって、用語辞典ではないのは、明らか。つまり、中立的(?)な用語解説ではない。わたしたちの生きているこの社会がどういうものであるのか、それを考えるために、取りかかりとなるような単語を集めて、著者が切った本である。ただし、切ってみせてはいるが、捌くまでいかない。それをすすめるのは、読者の側からである。

本書の目的は明確だ。冒頭の「はじめに」で、この「社会」の自明性をはぐこと、「あたりまえ」を疑ってみる／疑うことだ、と宣言している。

この社会の「あたりまえ」を疑う、ということは、ひいては、親や教師が言っていることばかりではなく、学校教育で習ったものすら疑うことを含む、と私は思う。過激に聞こえるだろうか。いや、そもそも「学問」とか「研究」の基本の一つは、この疑うということなのだ。そんな大上段に構えなくとも、自分が誰とも取替のきかない自分であることを自分がまずしっかりと認め、自分が伸びやかに呼吸できるような空間を確保するためには、自明だと思っている／思い込まされているものを疑うことが大切だ。

これは、呼びかけの本である。「用語」に対する著者の説明に驚いたり、納得したりしても、その説明を丸呑みにしてそこにどまっていればつまらない。呼びかけに答えて、さあ、自分の思考を紡ぎながら、もっと深くへ行こう。

法政大学の一般選抜の入試制度を紹介します

法政大学では、受験生の皆さんが十分に力を発揮できる入試制度を用意しています。

2科目で受験ができる

T日程入試(統一日程)

3科目で受験ができ、最も募集人数が多い

A方式入試(個別日程)

国公立大学併願型で費用負担が少ない

大学入学共通テスト利用入試C方式(5教科6科目型)

1科目で受験ができる

英語外部試験利用入試

私立大学型で得意な科目で受験できる

大学入学共通テスト利用入試B方式(3教科型)

自分にあった入試制度を見つけよう!

各制度の詳細はこちらからCHECK!



お問い合わせ 法政大学入学センター



HOSEI University

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1
TEL 03-3264-9300(直通)

法政 入試

検索

明治大学が創立140周年記念式典を開催、次期長期ビジョン「MEIJI VISION 150 - 前へ -」発表



明治大学は大学創立140周年を記念し、創立記念祝日となる11月1日、駿河台キャンパス・アカデミーホールで「明治大学140周年記念式典」を開催した。会場へは招待者のみ入場し、式典の様子は140周年記念サイトおよび明治大学公式YouTubeアカウントからライブ配信された。

記念式典では、寛仁親王妃信子殿下による祝辞の後、来賓代表として末松信介文部科学大臣（義本博司事務次官代読）、卒業生の萩生田光一経済産業大臣、早稲田大学総長の田中愛治・日本私立大学連盟会長が祝辞に立った。卒業生で第81代内閣総理大臣の村山富市・校友会名誉会長からの祝電も披露された。

柳谷孝理理事長と大六野耕作学長からは、次期長期ビジョン「MEIJI VISION 150 - 前へ -」の発表が行われた。発表に先立ち、卒業生で声優・マルチクリエイターの三ツ矢雄二さん、卒業生の保護者で声優・女優の日高のり子さんによるナレーションで、創立130年以降10年、多方面にわたって積み上げてきた実績を紹介した。

「MEIJI VISION 150 - 前へ -」は、明治大学が創立150周年を迎える2031年を見据え、10年後のあるべき姿を示した全学ビジョン。大学経営と、2019年に定めた「グランドデザイン2030」に沿う教育、学生支援、研究、社会連携・社会貢献の4つから成り、法人と教学が一体となって中期計画、事業計画へと落とし込んでいく。

大学経営においては理事会に常勤監事を置き、明治大学初の女性理事、女性監事を選出。ガバナンスとコンプライアンスの強化に努めつつ、教学面を強固な財政基盤で支える。また、駿河台キャンパス神田猿楽町地区の再開発を中心とした施設整備を進め、アジアのトップユニバーシティにふさわしい、ハブとなるキャンパスを目指す。財政計画では2031年に50億円の収入超過を、寄付金収入は2031年までに累計150億円という数値目標を掲げる。さらに、附属校政策を充実させ、将来にわたって安定した入学者の確保に努める。

教育面では世界トップレベルの教育力ある大学を目指す。国内外の幅広い地域から学生を受け入れ、2人に1人が留学経験者となるよう支援する。また、女性教員と外国人教員比率、外国語による科目の比率を高める。

学生に対してはスポーツや文化活動、社会貢献活動などに全力で挑戦できる支援体制を構築し、奨学金の拡充やキャンパスの整備、キャリア形成支援による「就職の明治」の継承を方針に掲げる。

研究に関しては「研究のMEIJI」として世界でのプレゼンスを高め、社会や産業界へ還元していく。次世代を担う研究者育成のための支援体制を構築し、国際ジャーナル投稿論文数や国際共著率、論文インパクト（FWCI）の向上を図る。外部研究費の受入金額を2031年までに50億円に増加させることを目標に、研究支援の取り組みを強化する。

社会連携・社会貢献の全学ビジョンとしては、国内外の地域と連携し、地域社会に開かれた生涯教育の拠点として学びの機会を提供する。明治大学の生涯学習機関、リバティアカデミーによる講座数を増やし、オンラインも取り入れて各地の社会的ニーズに合致した講座を開講する。

これらの全学ビジョンについて、柳谷理事長と大六野学長は「『権利自由』『独立自治』を建学の精神とする本学は、人間が人間として生きるに値する平和で持続可能な社会を創出する教育・研究拠点を目指します」と語り、創立150周年に向けて、どんな困難に直面しようとも歩みを止めることなく『前へ』突き進んでいくことを宣言した。

式典の最後には、校歌誕生100年記念プロジェクトとのコラボレーション企画として、卒業生でハーモニカ奏者の寺澤ひろみ氏による演奏や、校歌誕生秘話に関する映像の上映、混声合唱団による合唱動画などが放映された。

2025年度からの新課程入試では「文学国語」と「論理国語」の両方が出題範囲に？

来春2022年度に高校1年生になる生徒は、現行課程とは異なる新しい教育課程で学ぶことになります。その生徒たちが大学を受験するのは2025（令和7）年度入試になります。各高校では4年先の大学入試で出題が予想される教科・科目を意識しつつ、新しい学習指導要領に基づいた教育課程を編成します。すでに新1年生向けにホームページで教育課程表を公表している高校も多数見られますが、「情報」とともに注目されていた「国語」は、「文学国語」と「論理国語」の両方を設置する高校が見られます。大学はこうした高校の状況を受け止めて、どのような入試範囲を設定するのでしょうか。

大学入学共通テストの出題範囲は「現代の国語」、「言語文化」

<表> 新学習指導要領「国語」科目・単位数

教科	科目	標準単位数	必修○
国語	現代の国語	2	○
	言語文化	2	○
	論理国語	4	
	文学国語	4	
	国語表現	4	
	古典探究	4	

<現行課程>

教科	科目	標準単位数	必修○
国語	国語総合	4	○
	国語表現	3	
	現代文A	2	
	現代文B	4	
	古典A	2	
	古典B	4	

：共通テスト出題範囲

新しい学習指導要領では国語は<表>の構成となっています。必修科目は「現代の国語」、「言語文化」となっており、それ以外にどの科目を設置するかは各高校が決めることになります。なお、大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の出題範囲は「現代の国語」と「言語文化」であることが今年の3月に大学入試センターから公表されています。

教育課程を編成する際、大学入試を考えると、共通テストでは古文・漢文を必修とする国立大学、私立難関大学が多いこともあるため、ほとんどの高校は表中の「古典探究」を設置することになります。古文・漢文を出題範囲としない大学が増えているとは言え、やはり必要な科目です。その次に課題となるのは、「論理国語」、「文学国語」、「国語表現」のうち、どの科目を設置するかということです。受験に必要となりそうな科目を全部設置すれば良いと考える向きもあるでしょうが、教育課程全体では単位数（授業時間数）が決まっており、他の教科・科目もあるため、おのずと国語の授業時間数にも限りがあります。そのため、当初は「論理国語」、「文学国語」、「国語表現」のどれか1科目を選んで設置することが標準的だと考えられていました。

ただ、現在公開されている各高校の教育課程を見ると、「論理国語」と「文学国語」の両方を設置する予定の高校が多く見られます。さらに進学校では標準単位数2単位の「言語文化」を3単位あるいは4単位の単位数を増やして設置し、標準単位が各4単位の「論理国語」と「文学国語」をそれぞれ3単位あるいは2単位に減単して設置するケースも見られます。以前は、ほとんどの高校で「論理国語」が設置され、「文学国語」は設置されないのではないかと見られていました。高校教育で文学を学ぶ機会が損なわれることを心配する声も聞かれていましたので、これは教材としての文学作品の価値に重きが置かれていることの現れと見ることもできるでしょう。

プレテストでの記述問題は「論理国語」寄りの出題だった

少し過去を振り返ってみると、2017年、2018年に実施された共通テストの試行調査（プレテスト）では、生徒会部活動規約や著作権法の条文などが問題の素材として使用されていました。この時は、後に実施が見送られることになった記述問題が、まだ共通テストの数学と国語で出題される予定でした。現代の社会生活で必要とされる実用的な文章や図表や写真などの資料が含まれた論理的な文章が問題の題材に使われたことから、共通テストの国語の出題傾向が大きく変わると受け止められ、高校の国語教育に与えたインパクトは小さくはありませんでした。

実際に共通テストの当初の問題作成方針では、国語の記述問題は「実用的な文章を主たる題材とするもの、論理的な文章を主たる題材とするもの又は両方を組み合わせたものとする」とされていたので、多くの高校の教育課程で「現代の国語」、「言語文化」を必修として、あとは「論理国語」と「古典探究」が設置されるものと見られていました。

ただ、大学入試センター試験でも国語(現代文)の出題フレームは、大問の第1問は、評論などの論理的な文章を問題の題材として、第2問で小説などの文学作品を題材にしています。そのため、「文学国語」を設置しないことで文学作品の学習機会が減り、共通テストの現代文の第2問への対策が十分にできなくなると心配する声もありました。こうした課題をクリアするためでしょうか、多くの高校は「論理国語」と「文学国語」の減単によるダブル設置という教育課程編成に至ったものと思われる。

この「論理国語」と「文学国語」の減単によるダブル設置について、高校側の声を直接聞いてはいませんが、校内でかなりの議論があったものと推察されます。あるいは、真の読解力や思考力を培うのは、実用的な文章ではなく、文学作品こそが相応しいと考えた国語の高校教員の教育者としての矜持だったのかも知れません。

共通テストの現代文は大問3題の出題(？)、個別試験で「文学国語」は出題範囲に入るのか

9月に文部科学省から、教育委員会や大学に対して「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告(補遺)」(9月29日)が通知されました。ここでは、旧課程生(既卒生)への対応など重要な情報が公表されましたが、気になるのは国語の試験時間が現在の80分から90分に10分増加していることです。試験時間の増加は当然の事ながら問題量の増加とほぼ同義語と言えます。

実は記述問題を含んだプレテストの試験時間は100分でした。プレテストの国語は現代文が3題、古文1題、漢文1題という問題構成で、今年行われた共通テストよりも現代文が1題多く出題されていました。その1題は記述式問題で、前述のように実用的な文章、論理的な文章が問題の題材になっていました。こうしたことから、2025年度入試の共通テストの国語は、大問5題となり、現代文は実用的文章・論理的文章の問題が2題、文学的文章の問題が1題、古文と漢文が各1題となる可能性が非常に高くなりました。

さて、ここで問題となるのは、各大学が個別試験で課す国語の出題範囲です。共通テストと同じ「現代の国語」、「言語文化」だけにしていくという考え方もあります。現行課程で言えば「国語総合」です。ただ、難関大学や歴史のある文学部を有する大学の場合は、その「国語総合」に加えて、現行課程の「現代文B」、「古典B」を出題範囲にしています。こうした大学は、「論理国語」と「文学国語」、「古典探求」を出題範囲にするものと考えられます。

ただ、一部の高校では「論理国語」は設置していても「文学国語」を設置していないところがあります。「文学国語」を出題範囲にすれば、こうした高校からの出願者が減ることも考えられます。難関大学を目指す生徒が多い高校は、共通テスト対策もあり、「論理国語」と「文学国語」の両方が設置されているため、難関大学は両方を出題範囲としてもそれほど影響はないと考えられます。中堅の大学で、歴史のある文学部を持つ大学はどう対応するのか、文部科学省の定めたルールによると、2025年度入試の入試概要は、来年には発表しなくてはなりません。受験生の立場で言えば、後になって「論理国語」や「文学国語」が出題範囲に加わるのは困りますが、後になって出題範囲から除外される場合はまだ対応がし易いでしょう。ただし、直前期の変更は混乱を招きますので避けて欲しいところです。

大学個別入試、新型コロナで97.5%が追試験など実施へ

2022年春の大学個別入試で97.5%の大学が新型コロナウイルス感染症対策として追試験などの対応を実施する予定であることが、文部科学省の集計で分かった。新型コロナの新規感染者数は国内で低水準になっているものの、欧州では再拡大の傾向が見られるだけに、2022年度大学入試も混乱が続く可能性がある。

文科省は10月末現在で2022年度入試に対する全国の大学の対応をまとめた。それによると、全国の大学1,056校のうち、追試験や別日程への振り替えなど新型コロナで何らかの対応を予定しているところが全体の97.5%に当たる1,030校に上った。

このうち、追試験を実施するのは51.6%の545校。76.4%に当たる807校は追加の受検料を徴収せずに別日程の受験に振り替えるとしている。30.5%の322校は追試験と別日程振り替えの両方を設定している。

数日間の実技検査を課すことなどから、追試験の設定が困難な大学や、受験料の返還を行う大学は合計0.9%の9校。1.4%の15校は対応を検討中と回答している。対応なしと答えたのは全体の0.2%に当たる2校だけだった。

今年実施された2021年度入試では、一般選抜の個別入試で382校が追試験を実施したほか、538校が追加の受検料を徴収せずに別日程の受験に振り替えている。

トビタテ!留学ジャパン、渡航できていない学生のみ2022年度に延長



文部科学省が展開する官民協働海外留学支援制度のトビタテ!留学ジャパンは、新型コロナウイルス感染症の拡大で2021年度まで延長しているが、派遣留学生として採用されたものの、まだ渡航できていない多くの学生等の留学を支援するため、2022年度にさらに延長されることが決まった。

文科省によると、今回の延長は派遣留学生に採用されながら、留学できない状態が続いている日本人大学生、高校生を支援するため、2022年度派遣に向けて新たに留学生を採用する予定はない。

トビタテ!留学ジャパンは2020年度を目標に日本人留学生の数を倍増させる目的で2014年度にスタートした。2013年度に日本人留学生は大学生6万人、高校生3万人だったが、2018年度で大学生約11万5,000人となるなど順調な伸びを見せていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大で2019年度から各国の入国制限が進み、派遣留学生に採用されたにもかかわらず、足止めされる大学生や高校生が相次ぐようになった。各国ともワクチン接種の拡大とともに、徐々に外国人留学生に対する門戸を開きつつあるものの、欧州で新型コロナ新規感染者の再拡大が続くなど、予断を許さない状況が続いている。

このため、文科省はさらに期間を1年間延長してできるだけ多くの日本人大学生、高校生を海外に送り出すことを決めるとともに、今後の制度のあり方について検討に入っている。

東洋学園大学と文京学院大学、単位互換科目「経営者論」で両理事長が登壇

2021年10月25日、単位互換協定を結んでいる東洋学園大学現代経営学部と文京学院大学経営学部が特別講義を開催した。文京学院大学の経営学部3年次科目「経営者論」に、東洋学園大学の愛知太郎理事長が登壇。同科目の指導教授でもある文京学院大学の島田昌和理事長とともに、私立大学の経営に関する特別講義と、履修学生からの質問に答える対談を行った。

東洋学園大学と文京学院大学は、2021年3月、双方の更なる発展を目指し、学術交流を促進するとともに、教育の一層の充実を図り学生の幅広い視野を育成することを目的として、「文京学院大学経営学部と東洋学園大学現代経営学部との単位互換に関する協定」を締結した。これにより、2021年4月1日から、対象科目を両大学の学生が特別聴講し、単位認定ができるようになった。

今回行われた文京学院大学の「経営者論」は、東洋学園大学では現代経営学部3、4年次に履修・単位認定が可能な科目。オンラインと対面のハイブリッド型授業として開講されており、当日は両大学とも受講者の約半数が対面で受講した。

特別講義のテーマは「私立大学の経営について」。島田理事長、愛知理事長がそれぞれの大学運営に対する考え方や取り組みについて紹介し、学生から寄せられた質問に回答した。学生からは「大学経営を志したきっかけ」「大学運営の難しさ」といった経営視点のものから、コロナ禍に対する大学の取り組み、日本の大学教育や大学制度に対する考え、さらには自大学の学生に望むことや大学生のうちにしておくべき事は?といったものまで、多くの質問が集まった。

学生の質問は、コロナ禍での学費や授業のあり方にも及んだ。両理事長からは、大学の支出の大半を施設維持費などの固定費が占めていること、オンライン授業を実現するためのインフラの整備や、学生に貸与するPCやWifiルーター確保などのシステム環境への投資を行った支出が大きかったことなど、コロナ禍での大学経営の一部を具体例を挙げながら詳しく解説した。

このほか、理事長の大学時代のエピソード、お薦めの本といったパーソナリティに関わるような質問もあり、授業を受けた学生からは「前職での経験や、大学理事長への転職の経緯・動機についての話もとても興味深く、(理事長を)身近に感じた」との感想も聞かれた。今回の授業を通じて、経営に対する知識を深めることはもちろん、各大学や理事長の考え方について改めて知る機会にもなったようだ。

城西国際大学、学生たちがコロナワクチン接種後の副反応対策を学べる動画を作成、公開



新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、1回目より2回目、高齢者より若い世代の方が副反応を起こしやすい傾向が明らかとなっている。そこで城西国際大学では福祉総合学部、薬学部、看護学部の学生が協同で、接種後の経過観察時間に副反応に関する知識や対応策を学べる動画を作成。校内での職域接種の会場で紹介した。

動画は、福祉総合学部、薬学部、看護学部の教員が監修し、学生計12名が作成した。動画では、福祉総合学部の学生が副反応のひとつである「迷走神経反射」について、その症状(頭が痛い、あくびが出るなど)と起きやすい状況(緊張や寝不足など)を説明。さらに予防策として、席に座ったままでもできる簡単な指の体操を実演している。続いてワクチン接種した腕の局所反応(発赤、かゆみなど)と全身反応(発熱、倦怠感など)については薬学部生が説明し、それぞれの症状に適した薬とその服用の仕方を解説。さらに看護学部生が、ワクチン接種後も続けるべき予防対策を紹介し、正しいマスクの選び方・つけ方、換気の仕方、手の洗い方をクイズ形式で紹介している。

内容はいずれも学生たちが自分たちで考え、接種を終えたあとの経過観察時間に合わせ15分間に編集。会場で接種を受けた全員に全編を見てもらえるように工夫を凝らした。

千葉東金キャンパスでの2回目の職域接種(10月6、7、14、15日)の会場で上映したところ「経過観察時間を有効に活用できる」「接種した直後なので、より真剣に見ることができる」と好評で、急性の副反応を起こす学生も予想を下回った。

また、城西国際大学千葉東金キャンパスを会場に、10月17日に実施された千葉県東金市の集団接種でもこの動画が上映され、多くの来場者が視聴した。

学生たちは他の接種会場での上映に加え、家庭、職場などでも活用してもらおうと、この動画「ワクチン接種後の経過観察時間に副反応を学ぼう」をYouTubeで公開している。

金沢星稜大学、英語による国内異文化交流プログラムを開催

金沢星稜大学人文学部では、2021年9月6～9日の4日間、希望者を対象に「国内異文化交流プログラム エンパワメントプログラム」を開催した。



「国内異文化交流プログラム エンパワメントプログラム」は、アクティブラーニングの経験豊富なネイティブのファシリテーターの指導のもと、世界中から集まった留学生グループリーダーと共に英語によるディスカッションやプレゼンを繰り返し行う短期集中プログラム。すべて英語で行い、英語でのコミュニケーション力向上はもちろん、学生の潜在的な能力を引き出し、課題発見力、問題解決力、リーダーシップを身につけることを目指している。また、新しい価値観との出会い、異なる文化背景を持つ留学生との交流や、明確な目標をもって留学をしている留学生のスピーチから刺激を受け、自己成長につなげるのがねらい。

金沢星稜大学の学びの趣旨に合うようにカスタマイズされた今回のプログラムでは、世界的に活躍している企業人がゲストスピーカーに加わり、学生たちにとって、将来のキャリアパスを考える上で大きな刺激となり、多くのことを学ぶ充実した4日間になったようだ。

参加した学生からは「プログラムに参加して、自分とは何なのかをよく知ることができ、おかげで就活の軸をより明確化することができたと思います。英語についても、どうしたら自分の英語力で相手に伝えられるかという学びの方が大きかったです。もちろん正しいことも大切ですが、それよりも相手に伝えようとする思いや工夫が、コミュニケーションの上ではより大切だと実感しました」(人文学部国際文化学科 3年次 T・Nさん)、「通常の学生生活では出会えないような、様々な経験を持つ優秀な留学生とディスカッションできたのは、とても貴重な経験になり、刺激になりました。プロジェクトを通じて何度もプレゼンテーションをしたおかげで、自分のパブリックスピーキングに自信を持てるようになりました」(人文学部国際文化学科 3年次 O・Yさん)といった声が届いている。

東京経済大学、SDGs を推進する傘シェアリングサービス「アイカサ」を構内に設置

東京経済大学では、2021年9月21日(火)、1号館1階と葵陵会館1階の入り口に、傘のシェアリングサービス「アイカサ」を設置した。



「アイカサ」は、使い捨て傘を少しでも減らしたいという想いからスタートした日本一の傘シェアリングサービスで、駅や商業施設、飲食店などに設置されたアイカサスポットから傘をレンタルし、利用後は最寄りのスポットに返却することができるというもの。

東京経済大学への設置には、国分寺の地域連携やSDGs活動を推進する経済学部尾崎寛直教授、周牧之教授が関わっており、設置当日は周牧之ゼミ生も立ち合い、使用方法やメンテナンス、事業運営について等、熱心に質問した。

日本では、年間約8000万本のビニール傘が消費され、消費量は世界で1位と言われるほどで、使い捨てられるビニール傘は資源の浪費、環境問題にも大きく影響を及ぼす。

大学周辺のアイカサスポットは、国分寺駅や国分寺マルイの入り口にも設置されており、急な雨で傘の持ち合わせがないときも、ビニール傘を購入する半額以下の料金でレンタルができ、かつ資源を守ることもつながる。構内に「アイカサ」を設置したことで、学生たちは大学構内で傘を借り、国分寺駅で返却、またその逆も可能となる。

2022年度医学部入学定員、9374人に 文部科学省が公表

文部科学省は2022年度の国公私立大学医学部定員を9,374人とする計画を明らかにした。地域の医師確保を目指す地域枠拡大などから前年度を17人上回る内容で、近畿大学、藤田医科大学、順天堂大学、自治医科大学、岩手医科大学など私立大学24校が定員増の認可を文科省に申請している。

文科省によると、医学部の入学定員は医師余りの状態になるのを避けるなどとして1982年、1997年の閣議決定で7,625人まで抑制したあと、医師不足が深刻化した地域への対応などとして2008年から定員増を進めてきた。東北医科薬科大学医学部(定員100人)、国際医療福祉大学医学部(140人)の開設を認めるとともに、これとは別に地域枠など臨時定員で979人、恒久定員で530人の増員を進めている。

2022年度は地域枠を前年度を20人上回る908人に広げたのをはじめ、研究医養成のための研究医枠に27人、歯学部を持つ大学が歯学部の定員を削減する場合の増員枠となる歯学部振替枠に44人と、それぞれ前年度並みの人員を確保した。

これを受け、私立大学24校が定員増の認可申請をしたわけで、主な大学では順天堂大学が33人、岩手医科大学が31人、自治医科大学が23人、埼玉医科大学が20人、昭和大学が19人、近畿大学、関西医科大学がそれぞれ17人、川崎医科大学が16人、藤田医科大学が10人の増員を申請している。

飛騨高山大学(仮称)、2024年4月の開学を目指し設立学部やキャンパス構想を発表

岐阜県飛騨地方初の私立の四年制大学として、2024年4月の開学を目指す飛騨高山大学(仮称)。11月5日に記者会見が開かれ、学長候補の宮田裕章氏、本校キャンパス設計者の藤本壮介氏が出席した。今後、2022年10月大学設置認可申請、2024年開学に向け準備を進める。

会見は、飛騨市本校キャンパスの設置予定地である飛騨市古川町で行われた。飛騨高山大学は本校キャンパスと各地域との「絆」を結び、全国11カ所(2021年11月現在)に拠点を設ける予定。多様な課題に直面している地方都市や過疎地域の現状に対して学生が実践の場を通じて直接触れる機会を創出し、横断的かつ幅広い視点で地域課題にイノベーションを発揮する人材の育成を目指す。学生数は入学定員100名・収容定員400名を想定(11月5日現在)。設置学部は、当初の予定を変更し、ニューノーマルにおける高等教育の姿を見据えた「共創学部」という名称となる。

学長候補には、慶應義塾大学医学部教授の宮田裕章氏が就任。専門はデータサ

イェンスで、科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行っている。専門医制度と連携し5000病院が参加するNational Clinical Database、LINEと厚労省の新型コロナ全国調査など、医学領域以外にも含む様々な実践に取り組んでいる。

宮田氏は開学に向け、飛騨高山大学(仮称)を「高校を卒業した学生だけでなく、社会の様々な立場の人たちが多様な地域や取り組みの中で繋がり、互いに学びあいながら、新しい社会を拓く実践をともにする場」とする抱負を語った。全国各地に地域拠点を結び、各地域の未来を共創する実践的な取り組みの中で学びの場を提供する。「新しいコミュニティやビジネス、アートやサービスなど多様な価値を創造するリーダーを輩出する」教育拠点を指す。

こうした構想を体現するのが飛騨本校のキャンパスデザインだ。「包まれていること」「その先へと開いていること」を体感し、学生や教員、地域の人々が、自由に交流し、その先の世界へと意識が繋がるようなキャンパスの設計イメージが発表された。手掛けるのは藤本壮介氏。国際設計競技で最優秀賞を何度も受賞し、2025日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任するなど国内外で活躍する建築家である。

本校キャンパスと結んで展開する拠点は、2021年10月時点で岐阜県高山市・岐阜県岐阜市・愛知県田原市・石川県中能登町・長野県小布施町・京都府京都市・北海道札幌市・宮城県仙台市・鳥取県鳥取市・福岡県福岡市を予定地としている。開校に先駆け、2021年6月14日から、現役大学生や社会人らを対象に各地の拠点において提供予定のオリジナル教育メソッド「ボンディングシップ(双方向の絆づくりの実践教育)」を試験的に実施し、教育効果の実証を試みている。岐阜県飛騨市を皮切りに、各務原市、岐阜市、石川県能登、北海道札幌、福岡県福岡市など、全国各地で開始しており2022年9月まで検証を行う。



千葉商科大学、10月実施の学部入学試験で46%がオンライン面接を選択

千葉商科大学が2021年10月実施の学部入学試験においてオンラインでの面接試験を導入したところ、受験生の46%がオンライン面接を選択したことが分かった。

千葉商科大学は文部科学省の要請に基づき、新型コロナウイルスの影響を受ける受験生への配慮として、2020年度における入試日程と出願資格の基準の変更やオンラインオープンキャンパスの実施に続き、2021年度は10月16・17日実施の学部入学試験において、受験生の安全を守るためオンラインでの面接試験を導入した。

対象となった試験は「給費生総合型選抜」「一般総合型選抜10月期」「併願総合型選抜」「文化・スポーツ実績総合型選抜10月期」「付属高等学校生対象総合型選抜」。いずれも受験生の希望に合わせて、自宅等でのオンライン面接、大学が用意した地方会場でのオンライン面接、大学での対面面接から自由に選べるようにした。

その結果、受験生602名中277名がオンライン面接を選択した。オンライン選択者の地域区分は1都3県173名(62.5%)、その他104名(37.5%)で、目的どおり受験生の移動を抑え、感染拡大の予防につながったとみられる。

オンライン面接のシステムは、短期間での導入支援や事前の接続チェックが簡単、受験者の接続チェックの進捗・面接の進捗管理ができる等の運用面での使い勝手から株式会社ZENKIGENが提供するDXサービス「harutaka」を採用した。接続率は99.8%で、接続に関してサポートセンターへの問い合わせは「入室できない」、

「カメラ/マイク接続エラー」など2日間で15件が寄せられた。これらの問合せはURLの確認やharutakaのトラブルシューティングで解決したという。

今回のオンライン面接について、選択した受験生にアンケートを行った結果、オンライン面接システムの操作性については「簡単77.9%、まあまあ簡単18%、やや難しい3.3%、難しい0.8%」、対面とオンラインの選択肢があることについては「満足86.1%、概ね満足13.1%、やや不満0.8%、不満0%」だった。また、感染症の流行に関わらず、オンライン面接があれば希望するかという問いに対しては、59%がオンライン面接を希望し、対面面接を希望したのは41%だった。「harutaka」を導入した入試担当者は「地方からのアクセスによる受験生の金銭的な負担を軽減できることを考えると、新型コロナウイルスが収まっても、面接試験のオンライン化は標準になっていく」とコメントしている。

千葉商科大学では、文部科学省が進める大学入試改革の方針に沿い、CBTをはじめとする入試のオンライン化を着実に促進してきた。今回の実施結果やアンケート結果を踏まえ、11月の入試でも選べるオンライン面接の実施を予定している。

魅力ある地方国立大学の定員増、2022年度は採択なし

魅力ある地方大学の実現に値する計画を打ち出した地方国立大学に対し、特例として定員の増加を認める事業で、文部科学省の審査会は2022年度について採択なしとする結論を出した。

文科省によると、魅力ある地方大学の定員増は2020年、中央教育審議会大学分科会や魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議で打ち出されたもので、地域のニーズを生かした取り組みを通じて地方創生に貢献できる地方国立大学に対し、特例措置で定員増を認めるとしている。

文科省が6月、全国の地方国立大学から公募を行い、2校から取り組み構想の申請があった。その内容を内閣官房が地方創生の観点から審査したうえで、村田治朗西学院大学学長、佐藤敬青森中央学院大学学長ら有識者6人で構成する審査会で審議したが、採択なしの結論に達した。

文科省は申請を出した2校名や審査内容について公表を避けているが、公募で定員を増加する学部で地域ニーズを踏まえた学生需要の見通しがあること・地域の産業界が求める人材需要などの定量的なエビデンスに基づく分析が行われ、定員増の必要性が妥当であること・地域の産業創出や若者の雇用創出など地方創生に関して明確な結果を出せることなど、かなり厳しい条件が課せられており、地方の人口減少と高齢化、地方経済の疲弊が進む中、これに見合う構想を打ち出すのが困難だったとみられる。

18、19歳の衆院選投票率43%、前回越えも依然低水準

総務省が10月の衆議院議員選挙で全国188の投票区を抽出して18歳、19歳の投票率を調べたところ、43.01%（速報値）と前回（2017年）の41.51%をわずかに上回ったものの、依然として低水準であることが分かった。

総務省は全国4万6,466投票区の中から、各都道府県で標準的な投票率を示した4投票区ずつの合計188投票区を抽出し、18歳、19歳の投票率を調べた。

それによると、18歳の投票率は男性48.80%、女性53.68%、全体で51.14%となり、半数を上回った。19歳は男性33.34%、女性36.79%、全体で35.04%。19歳は住民票を移さないまま、進学で親元を離れるケースが多いこともあり、18歳の投票率より16ポイント以上低かった。

18、19歳全体の投票率は男性41.08%、女性45.06%、全体で43.01%。前回の男性41.07%、女性41.97%を男女とも上回ったものの、女性の伸びに対して男性の伸びが著しく低く、依然として低水準にとどまっている。総務省は10代の若者に投票を呼び掛けてきたが、今のところ成果は上がっていない。

全有権者の投票率は小選挙区55.93%、比例代表55.92%で、前回は小選挙区で2.25ポイント上回ったものの、戦後3番目に低い結果となった。

日本の大学・教育関連専門のニュースサイト

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

その他の詳しい大学関連ニュースは

大学ジャーナルオンライン

SEARCH



@univjournal



大学ジャーナルオンライン

東京都市大学の 新ファンクション(機能)プログラム

ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラムとは?

その4
総集編

新ファンクション(機能)カリキュラムで Society5.0をリードする人材を創出する

東京都市大学の 新ファンクション(機能)カリキュラム

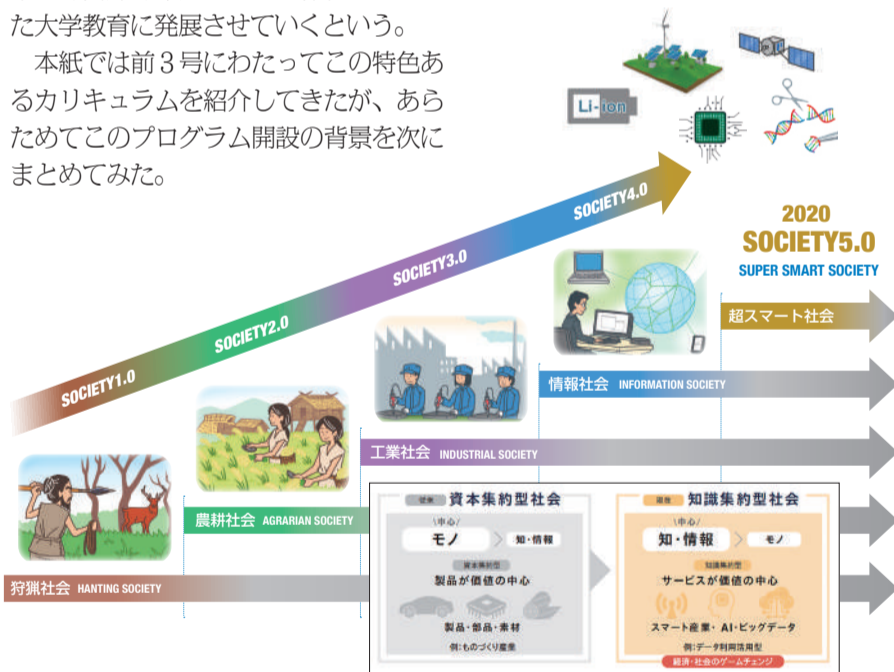
背景となる「Society5.0」と 数次にわたる「ゲームチェンジ」

7学部17学科を擁する東京都市大学は、2009年に前身の武蔵工業大学から名称変更して誕生した。総合大学になった今でも理工系大学として認知されることが多いのは、最大規模の「理工学部」の存在をはじめ、新設してきた学部の多くも文理融合の特性を持っているからだろう。理工系大学ならではの、ものづくり研究に向き合う実直さと、文理融合の柔軟さを持ち合わせた東京都市大学ならではの「新ファンクション(機能)カリキュラム」が、「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラムだ。

2021年度から理工学部の機械工学科・機械システム工学科・電気電子通信工学科でスタートしたもので、3学科を横断した専門科目の履修と、「ひらめきづくり」「ことづくり」といった「アイデアを生み出し形にする」探究科目で構成される。文部科学省の「知識集約型社会を支える人材育成事業」にも選定された。今後は全学部の横断するプログラムに拡大し、従来の専門分野や文系理系の枠組みを超えた大学教育に発展させていくという。

本紙では前3号にわたってこの特色あるカリキュラムを紹介してきたが、あらためてこのプログラム開設の背景を次にまとめてみた。

これからの社会を「Society5.0」と提唱したのは2016年の第5期科学技術基本計画。これまでの社会を、「狩猟」「農耕」「工業」「情報」と大きく4つにカテゴライズし、それぞれの社会への転換は、ゲームチェンジ(革新的な技術による従来の産業構造からの変革)によってもたらされたとする(下図)。Society2.0は稲作技術が、Society3.0は蒸気機関が、Society4.0は主にコンピュータとインターネットが、そして、それらの飛躍的発展、つまり蓄積されたビッグデータを駆使するAI・IoT、それに進化したロボットがもたらすが Society5.0だ。これまでのモノ中心の資本集約型社会から、知識・情報に価値がおかれる知識集約型社会への移行は、「サイバー(仮想)空間とフィジカル(現実)空間を融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」、超スマート社会に行きつくことされる(下図)。



	PBL	専門基礎	専門科目	自由	共通教育科目
従来	PBL 3単位	理工学基礎 30単位	学科の専門 60単位	自由 選択 12単位	語学・教養・体育 19単位
革新的なイノベーションをもたらすソリューションを提案する人材育成					
幅広い教養と深い専門性を両立した人材育成					
	文理横断・学修の幅を広げる	分野融合	グローバル・幅広い教養と統合的な学び		
当事業	ひらめきづくり 14単位	ことづくり 14単位 AI・ビッグデータ管理 データサイエンス 20単位	ものづくり(機械×電気) 48単位	ひとづくり 28単位	

Society5.0時代のマーケティングでは、《メイドインジャパン》のプライドでもあった、品質や機能がすぐれていて豊富なことよりも、それが何に使えるかのストーリー、〈こと〉の要素が重要視される。求められるのは、物と物を繋いだり、物にストーリー性を持たせたりして世の中に送り出す力、言い換えれば「アイデアと技術を繋いでイノベーションを起こせる力」だ。

当然、大学教育にも、従来型の指導体制や、成果主義に偏り、インターネットで誰よりも早く解を探し出すことが良い成績につながるという『探し物競争』的な教育からの脱却が求められる。その上で文理横断、分野融合により個別最適化から全体最適解を得る力の育成など、従来の枠組みを超えた抜本的な改革が求められている。これはものづくり教育においても例外ではない。

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラムの特徴

このような背景から導入されたこのプログラムは、以下のような独自の科目と、「ものづくり」と呼ぶ分野を横断した専門科目群で構成され、理想的で先駆的なカリキュラムとなっている。

プログラム独自の科目例

▶「ひらめきづくり(1)～(5)」

1～3年次配当。1+1で2を作る力だけでなく、0から1や0そのものを生み出す「ひらめき」に焦点をあてた授業を展開。デザイン思考を磨き、創造と社会変革を学ぶため、社会現象からの問題発見と課題抽出の実践に取り組む。

本プログラムの育成する人材像

身につけた幅広い教養と深い専門性から、革新的なイノベーションをもたらすソリューションを提案。こうした知識集約型思考アプローチによって全体最適解を得ることできる。次世代の社会改革リーダーの育成と、ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く人材の育成を目指します。

▶「ことづくり(1)～(5)」

1～3年次配当。知識集約型社会形成に必要な「ことづくり」を学ぶ。社会連携、システム思考、SDGsの思想をベースに、共創とDX、他分野をつなぎ実装する力、流行を生み出す力を学び、ことづくりを設計し、それを実践しかつ発信できる人材を育てる。

▶「Next PBL」

4年次配当。プロブレム学習、アクティブラーニングを駆使し、グローバルで未来志向の判断力、多様な人々と共創する力、論理的かつ総合的に判断し、自ら挑戦しマネジメントする力を修得。幅広い教養と深い専門性を両立した人材を育成する。

他に、「AI・ビッグデータ・数理データサイエンス」に関する科目や、グローバル社会に対応するための英語教育などの充実した「ひとづくり」が用意されていて、今後の工学教育、ひいては日本の大学教育全体にも影響を与えそうだ。

選択制で希望者が多い場合は選抜となる。所属学科の専門分野を磨きあげていく従来のカリキュラムを選択することも可能で、ともに卒業要件は124単位。このプログラムを選択した場合は、他学科の専門科目を探究の目的に応じて履修できる。特設ホームページも随時更新されていて最新の取り組みを確認することもできる。是非アクセスして、この革新的なプログラムの今後注目してほしい。

最後に、あらためてこのプログラムが目指す人材像を、以下にイラストで紹介する。



<https://hirameki.tcu.ac.jp>



武蔵工業大学の伝統と研究力を受け継ぐ――

●入試トピックス

- 共通テスト利用入試(前期5教科基準点型)を全学科で導入
基準点以上の得点で、受験者数に関係なく合格確約
- 英語外部試験の利用が可能に【一般選抜(前期・中期)】
- 試験日自由選択制でチャンス拡大【一般選抜(前期)】
- 特待生制度(授業料全額免除)、入学検定料の併願割引制度あり

1/6(木)より出願受付開始 詳細は入試要項をご確認ください

入試方法	出願締切	試験日
共通テスト利用入試(前期5教科基準点型)	1/14(金)	独自試験なし
共通テスト利用入試(前期3教科型)		
一般選抜(前期)	1/22(土)※1	2/1(火)、2(水)、3(木)
一般選抜(中期)	2/13(日)※1	2/20(日)
一般選抜(後期)	2/26(土)	3/4(金)
共通テスト利用入試(後期3教科グループディスカッション型) ※2	3/9(水)	3/14(月)

※1 学外試験場希望者は締切日前日まで

※2 新型コロナウイルス感染拡大の影響によりグループディスカッションを小論文に変更して実施



- 世田谷キャンパス
- 横浜キャンパス
- 等々力キャンパス

理工学部/建築都市デザイン学部/情報工学部(世田谷区・尾山台)
環境学部/メディア情報学部(都筑区・中川)
都市生活学部/人間科学部(世田谷区・等々力) ※2022年4月、世田谷キャンパスに移転予定

【お問い合わせ】 入試センター TEL.03-5707-0104(代)

都市大

検索 HP <https://www.tcu.ac.jp>

